

第5次二宮町総合計画後期基本計画策定に向けた
町民アンケート調査報告書

平成30年（2018年）3月

目次

1	調査概要	
1-1	調査目的	1
1-2	調査の対象および方法	1
1-3	調査期間	1
1-4	標本誤差の考え方	1
1-5	調査項目	3
1-6	グラフなどの見方	3
2	調査結果概要	
2-1	調査結果概要	4
3	調査結果	
3-1	回答者属性	6
3-2	中期基本計画の評価（重要度・満足度）	10
3-3	二宮町の居住環境について	21
3-4	地域づくり・地域活動について	25
3-5	子育て・高齢者について	29
3-6	これからの二宮町について	33
3-7	町民参加	36
4	自由意見一覧	
4-1	自由意見一覧	40
5	資料編	
5-1	調査票	49

1 調査概要

1-1 調査目的

本調査は、「第5次二宮町総合計画中期基本計画（計画期間：平成28年度（2016年度）～30年度（2018年度））」をはじめとする二宮町の取り組みに対する町民の意向を把握し、平成31年度（2019年度）から始まる「第5次二宮町総合計画後期基本計画」を策定するにあたっての基礎資料とすることを目的に実施しました。

1-2 調査の対象および方法

- (1) 調査対象 1,000人（二宮町に居住する20歳以上の町民から無作為抽出）
- (2) 調査方法 郵送による配布・回収によるアンケート調査
- (3) 調査期間 平成29年（2017年）12月6日～12月22日

1-3 回収状況

- (1) 配布数 1,000票
- (2) 回収数 293票
- (3) 回収率 29.3%

1-4 標本誤差の考え方

ある事柄について、町民全員に聞いたときの結果と、町民の中から無作為に対象者を選んで聞いた結果は、必ずしも同じものにはならず、必ず誤差が生じます。この誤差のことを標本誤差といいます。

標本誤差は、①対象者の数(回答数)と②設問の回答の比率によって異なり、下に示す標本誤差算出式によって算出されます(算出結果は次頁の早見表を参照)。

今回のアンケート調査では、回答数が293票であったことから、最大の標本誤差は、設問の回答の比率が「50%程度」の場合の±5.83%となります。これは、ある選択肢の回答比率が50%となっているものは、町民全体に聞いた場合では、44.17%～55.83%の範囲の中に納まるということを意味しています。

標本誤差は少ないほどよいのですが、標本誤差を下げるためには、たくさんの標本が必要となります。そのため費用対効果のバランスや、統計的に有為と言われる±5%程度に標本誤差が納まるようにアンケート調査を実施することが一般的であり、今回の調査でも最大の標本誤差は5%程度となっていることから、有為な調査結果であるとみることができます。

【標本誤差算出式】

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（二宮町の20歳以上の町民）
n = 回答数
p = 回答の比率（ $0 \leq p \leq 1$ ）
設問ごとの各選択肢における回答の比率

本調査の標本誤差の早見表

回答比率(p) 標本数(n)	5%又は 95%程度	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
100	±4.36%	±6.00%	±7.99%	±9.16%	±9.79%	±9.99%
200	±3.08%	±4.24%	±5.65%	±6.47%	±6.92%	±7.06%
293	±2.54%	±3.50%	±4.66%	±5.34%	±5.71%	±5.83%
500	±1.94%	±2.67%	±3.56%	±4.08%	±4.37%	±4.46%
1,000	±1.37%	±1.88%	±2.51%	±2.88%	±3.07%	±3.14%
3,000	±0.78%	±1.07%	±1.43%	±1.63%	±1.75%	±1.78%
5,000	±0.59%	±0.82%	±1.09%	±1.25%	±1.33%	±1.36%
10,000	±0.40%	±0.55%	±0.74%	±0.84%	±0.90%	±0.92%

1-5 調査項目

大項目	番号	小項目
3-1	回答者属性	
	(1)	住所
	(2)	性別
	(3)	年齢
	(4)	職業
	(5)	通勤・通学
	(5)-1	通勤・通学地
(6)	家族構成	
3-2	中期基本計画の評価（重要度・満足度）	
	(1)	施策の優先度
	(2)	加重平均の算出方法
	(3)	全体の傾向
(4)	分野別方針ごとの傾向	
3-3	二宮町の居住環境について	
	(1)	居住年数
	(2)	定住意向
	(3)-1	住み続けたい理由
(3)-2	他へ移りたい理由	
3-4	地域づくり・地域活動について	
	(1)	地域や地域活動・ボランティア活動に対して望むこと
	(2)	地域活動やボランティア活動等への参加状況および今後の参加意向
	(2)-1	地域活動やボランティア活動に参加する上での課題
(2)-2	地域活動やボランティア活動をやめたい、または参加していない理由	
3-5	子育て・高齢者について	
	(1)	子育て支援対策で充実させていくべき取り組み
(2)	高齢期（高齢期になった時）の生活の不安	
3-6	これからの二宮町について	
	(1)	二宮町の将来のまちのあり方について
(2)	二宮町が今後力をいれていくべきこと	
3-7	町民参加	
	(1)	町行政や地域の活動に関する情報の入手について
	(2)	行政に関する情報の入手手段
	(3)	まちづくりにおける町民参加の必要性
	(4)	まちづくりへの参加（参画）
(5)	町民と行政が協働でまちづくりを行う上で、必要だと思われること	

1-6 グラフなどの見方

- ・集計結果の回答割合は、有効回答 293 票を分母として小数点第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位まで表示しています。四捨五入して表示していることから、これらの数値の合計が 100%にならない場合があります。
- ・また、複数回答の設問では、回答者数を分母として回答割合を算出しているため、数値の合計が 100%を超えることがあります。
- ・複数回答の結果については、回答数の多い順に並び変えてグラフを作成しています。

2 調査結果概要

2-1 調査結果概要

本調査結果から、二宮町の「第5次二宮町総合計画中期基本計画」に対する町民の意向と2019年度（平成31年度）から始まる「第5次二宮町総合計画後期基本計画」の策定にあたっての町民の意向について、以下のようにまとめられます。

(1) 中期基本計画の評価（重要度・満足度調査）

- ◆1.00～5.00の範囲で分布する施策全体の満足度の平均値は2.97、重要度の平均値は3.97となっています。〈3-2（3）〉
- ◆重要度が高いにもかかわらず満足度は低い、改善する優先度が最も高い〈重点改善分野〉には、分野別方針1 福祉・健康・保健、分野別方針2 子育て・子育て、教育、分野別方針4 土地利用・都市基盤、分野別方針5 環境、防災、分野別方針7 自治体経営の施策が含まれています。
- ◆改善する優先度別に該当する施策数をみると、〈重点改善分野〉が21、〈重点維持分野〉が13、〈維持分野〉が20、〈改善分野〉が14となっていて、〈重点改善分野〉に最も多く施策が集まっています。

(2) 二宮町の居住環境について

- ◆「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算した「住みたい（合計）」と答えた人は76.5%となっています。〈3-3（2）〉
- ◆前回調査〈平成27年度（2015年度）町民満足度調査〉との比較では、「ずっと住みたい」は5.1ポイント増えた一方で「当分住みたい」が5.1ポイント減り、「できれば他へ移りたい」が3.6ポイント増えています。〈3-3（2）〉
- ◆年齢別で比較すると、若い年代ほど、「ずっと住みたい」と答えた人の割合が少なくなっています。一方で、「できれば他へ移りたい」と答えている人が多い年代は20歳代、次いで50歳代となっています。〈3-3（2）〉
- ◆住みたいと答えた理由については、「自分の家や土地があるから」が最も多く47.8%、次いで、「自然環境がよいから」が46.9%となっています。〈3-3（2）-1〉
- ◆他へ移りたいと答えた理由については、「生活するのに必要な施設がそろっていないから」が最も多く26.1%、次いで、「行政サービスが充実していないから」が21.7%となっています。〈3-3（2）-2〉

(3) 地域づくり・地域活動について

- ◆「現在、参加していないが、今後は参加したい」と答えた人は全体の25.3%、「現在、参加しており、今後も同じ活動を続けたい」は16.4%となっています。〈3-4（2）〉
- ◆参加する上での課題については、「メンバーの高齢化」、「新しいメンバーが増えない」、「後継者がいない」といった人的資源に関することが最も多く、「現在、参加をしているが、今後はやめたい」、「現在参加しておらず、今後もするつもりはない」と答えた理由としては、「時間的に余裕がないから」が最も多く44.4%となっています。〈3-4（2）-1〉、〈3-4（2）-2〉

(4) 子育て・高齢者について

- ◆子育て支援対策で充実させていくべき取り組みについては、「いじめや差別をなくす教育の

推進」が最も多くなっています。〈3-5 (1)〉

- ◆年齢別にみると、30 歳代では、「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が、40 歳代では、「医療費への助成」が最も多い結果となっています。〈3-5 (1)〉
- ◆高齢期（高齢期になった時）の生活の不安については、「認知症になること」が最も多く、年齢別にみると、20 歳代～40 歳代については全体の傾向と異なり、「生活費の確保が困難になること」となっています。〈3-5 (2)〉

(5) これからの二宮町について

- ◆二宮町の将来のまちのあり方については、「お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち」が最も多くなっています。〈3-6 (1)〉
- ◆年齢別にみると、全体の傾向とは異なり、50 歳代及び 70 歳代は「お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち」、60 歳代は「お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち」及び「自然や景観の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち」となっているのに対して、30 歳代～40 歳代については「子育てや教育のサポートが充実したまち」、20 歳代は「子育てや教育のサポートが充実したまち」及び「買い物や余暇が楽しめる活気のあるまち」となっています。〈3-6 (1)〉
- ◆二宮町が今後力をいれていくべきことについては、「高齢者福祉の充実」が最も多く、次いで、「駅前整備」、「子育て支援対策の充実」の順で、割合が多くなっています。〈3-6 (2)〉

(6) 町民参加について

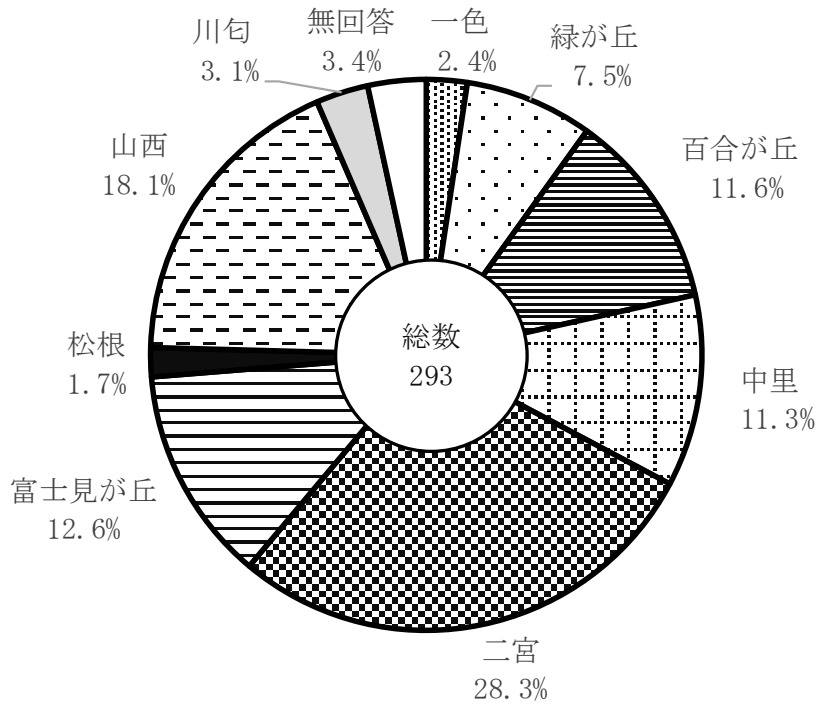
- ◆町行政や地域の活動に関する情報を充分に入手できていると思うかについては、全体の割合の 54.6%が「ある程度は入手できている」となっています。〈3-7 (1)〉
- ◆年齢別にみると、「十分に入手できている」、「ある程度は入手できている」を合わせた「入手できている」割合が最も多いのが 70 歳代で 73.4%となっている一方、20 歳代で 30.0%、次いで 30 歳代で 42.0%と年齢別にばらつきがあります。〈3-7 (1)〉
- ◆まちづくりに関する町民参加の必要性については、「まちづくりに町民参加は必要である」と、「どちらかといえばまちづくりに町民参加は必要である」と答えた人を合わせた「まちづくりに町民参加は必要である（合計）」の割合は、全体の 85.0%となります。〈3-7 (3)〉
- ◆「まちづくりに町民参加は必要である（合計）」の割合は、年齢別でも、一番割合の低い 30 歳代で 8 割を超えています。〈3-7 (3)〉
- ◆まちづくりへの参加（参画）については、「積極的に参加したい」と「選ばれれば参加したい」と答えた人の割合を合算した「参加したい（合計）」と答えた人が全体の 51.2%となっています。一方、「参加したいとは思わない」と答えた人の割合は全体の 20.1%となっています。〈3-7 (4)〉

3 調査結果

3-1 回答者属性

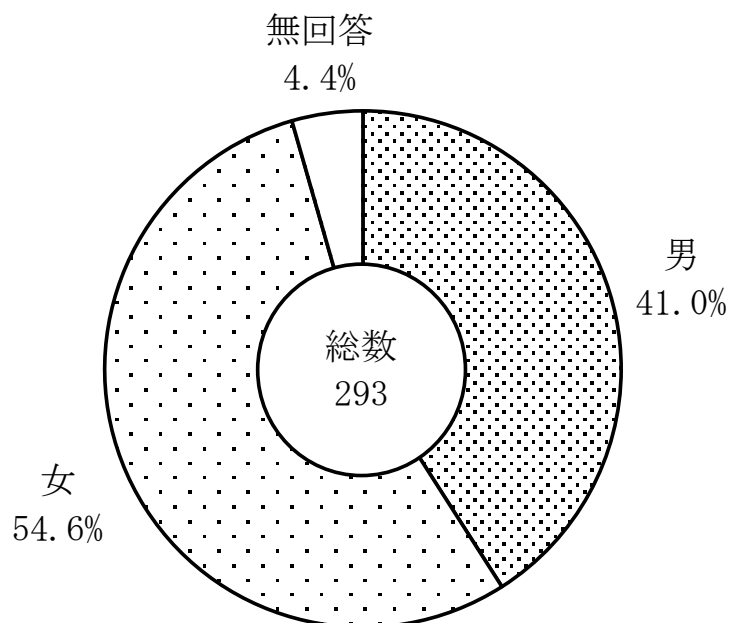
(1) 住所

「二宮」が最も多く、次いで、「山西」、「富士見が丘」と続きます。



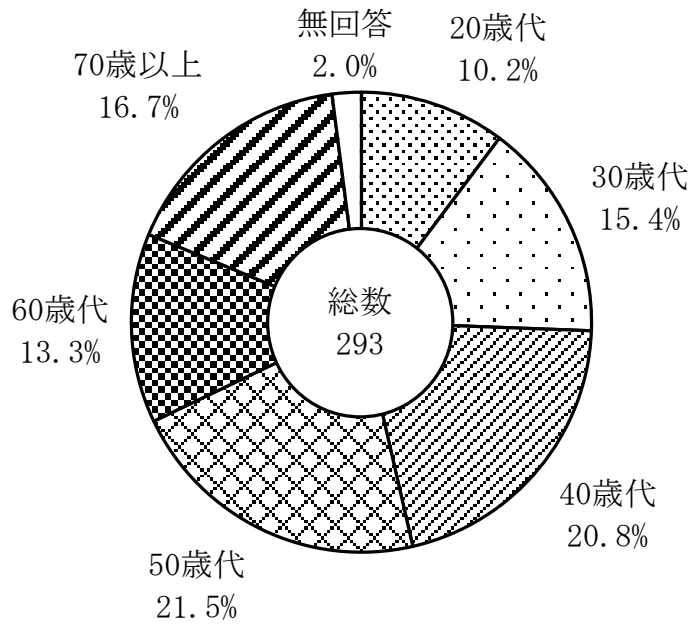
(2) 性別

「女性」が「男性」を 13.6 ポイント上回っています。



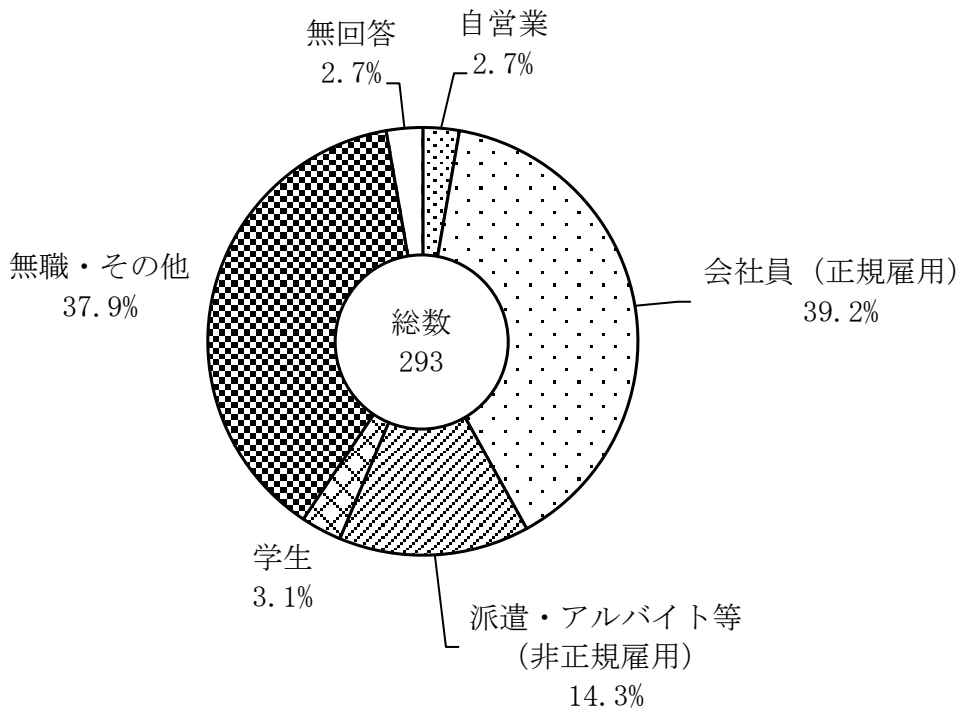
(3) 年齢

「50 歳代」が一番多く、ついで、「40 歳代」、「70 歳代」と続きます。



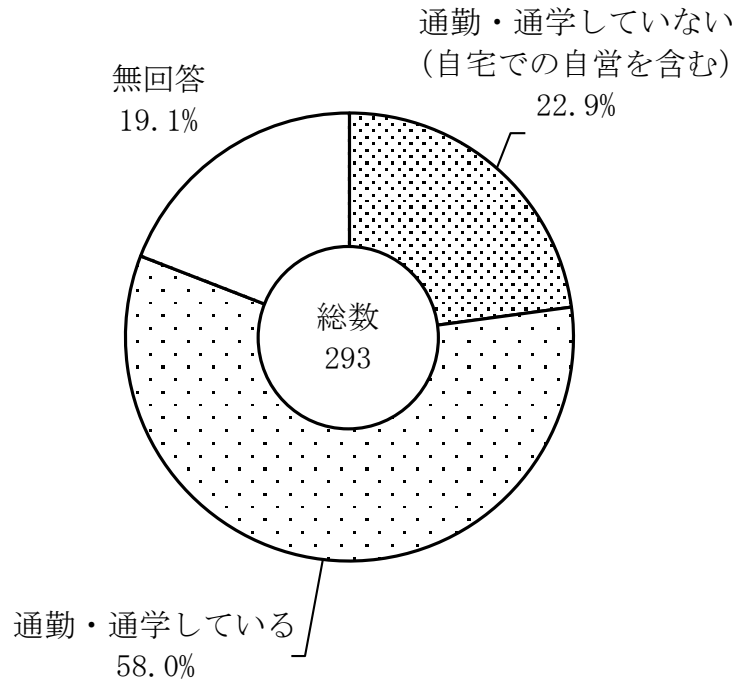
(4) 職業

「会社員（正規雇用）」が最も多く、次いで、「無職・その他」、「派遣・アルバイト等（非正規雇用）」と続きます。



(5) 通勤・通学

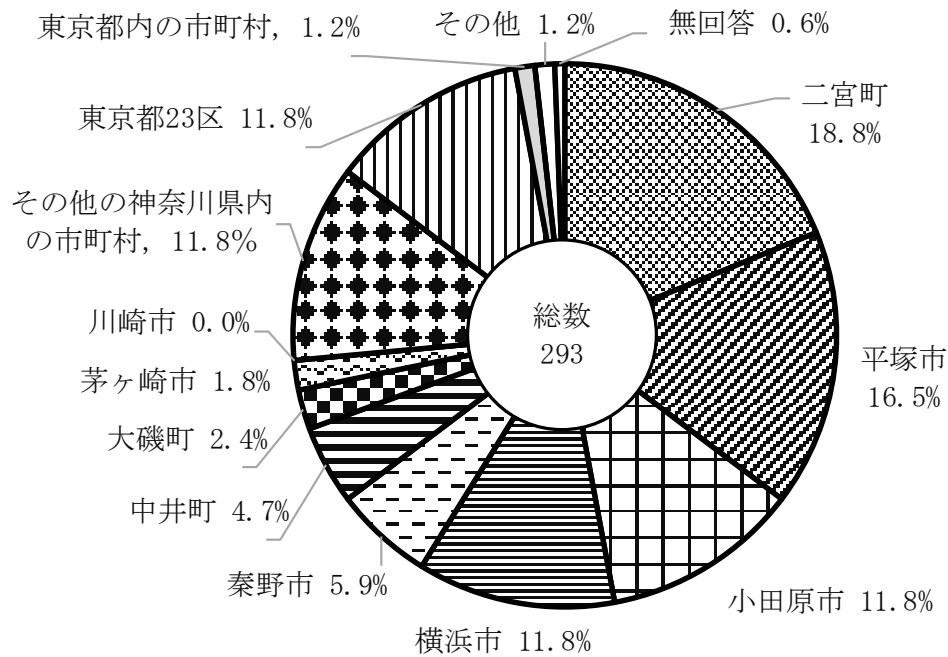
通勤・通学しているが通勤・通学していない（自宅での自営を含む）の割合を上回り、6割弱となっています。



【(5)で「通勤・通学している」を選んだ方に伺います。】

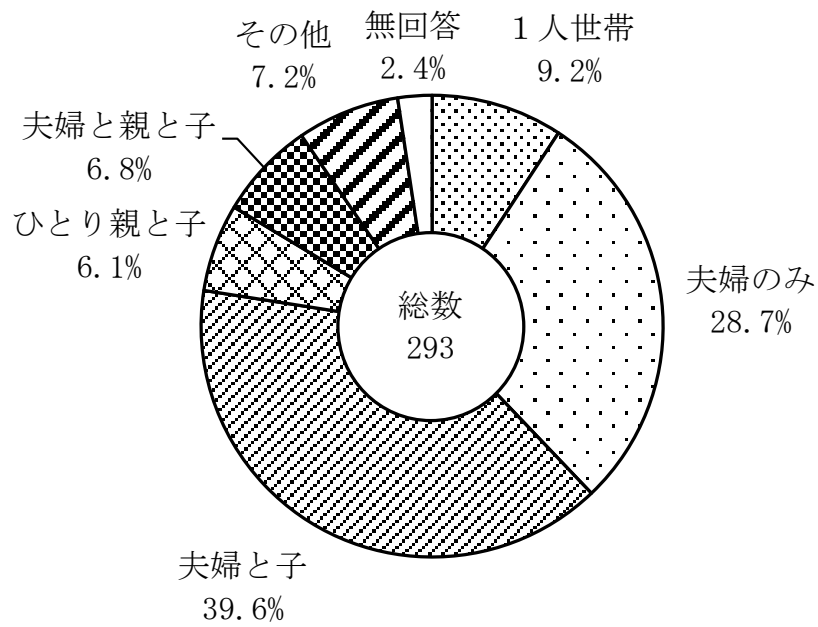
(5) - 1 通学・通勤地

「二宮町」が最も多く、次いで「平塚市」が続き、「小田原市」、「横浜市」、「その他の神奈川県内の市町村」、「東京都 23 区」が続きます。



(6) 家族構成

「夫婦と子」が最も多く、次いで「夫婦のみ」、「1人世帯」と続きます。



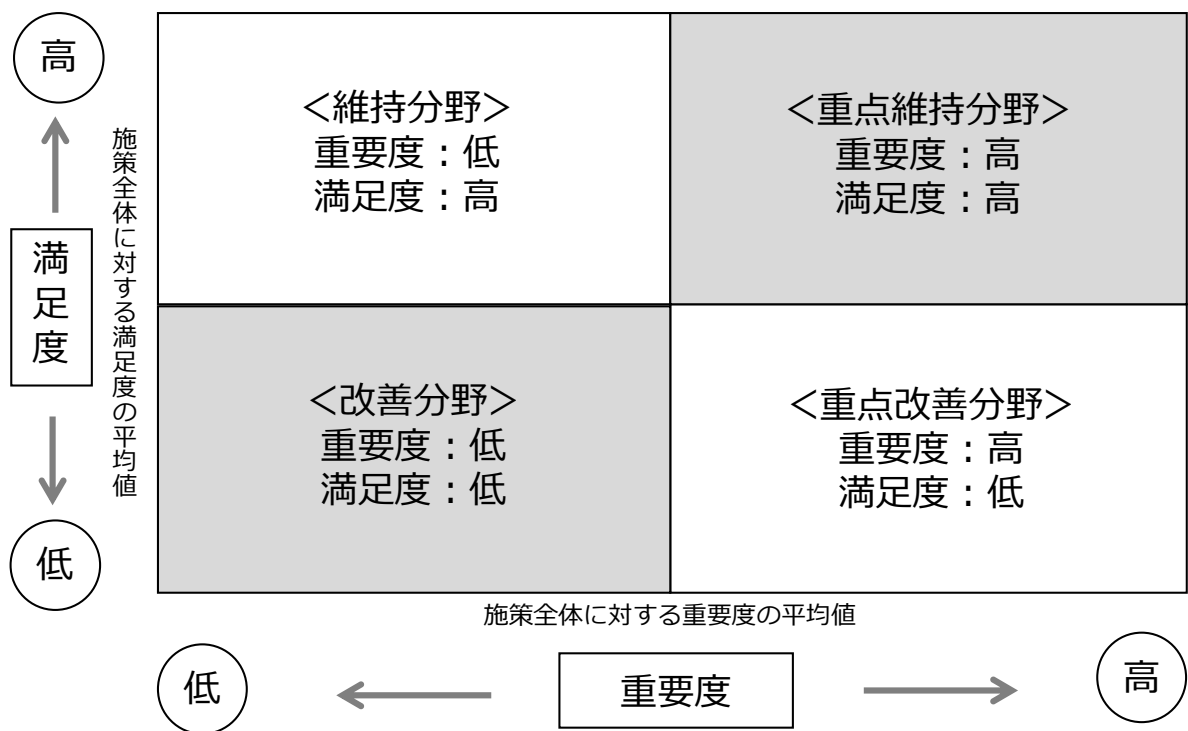
3-2 中期基本計画の評価（重要度・満足度）

「第5次二宮町総合計画中期基本計画（2016年度（平成28年度）～2018年度（30年度）」の施策に対する「満足度」と「重要度」を伺いました。

（1）施策の優先度

改善すべき施策の優先度を把握することを目的に、施策ごとにその施策をどれほど重要視しているか（重要度）と、現在その施策にどれほど満足しているか（満足度）を聞き、その結果から施策ごとの加重平均について、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、優先度のタイプを次の4つに分類しました。

- ◆右下の象限：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い〈重点改善分野〉
- ◆右上の象限：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく〈重点維持分野〉
- ◆左上の象限：重要度は低いが満足度が高く、維持していく〈維持分野〉
- ◆左下の象限：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要〈改善分野〉



（2）加重平均の算出方法

施策ごとに5段階で評価していただき、その回答数の加重平均を算出しました。加重平均は、満足（重要）を「5」とし、やや満足（重要）が「4」、どちらとも言えないが「3」、やや不満（あまり重要でない）が「2」、不満（重要でない）が「1」として算出しました。加重平均の数字は、大きくなるほど満足度・重要度が高く、逆に小さくなるほど満足度・重要度が低くなることを表しています。

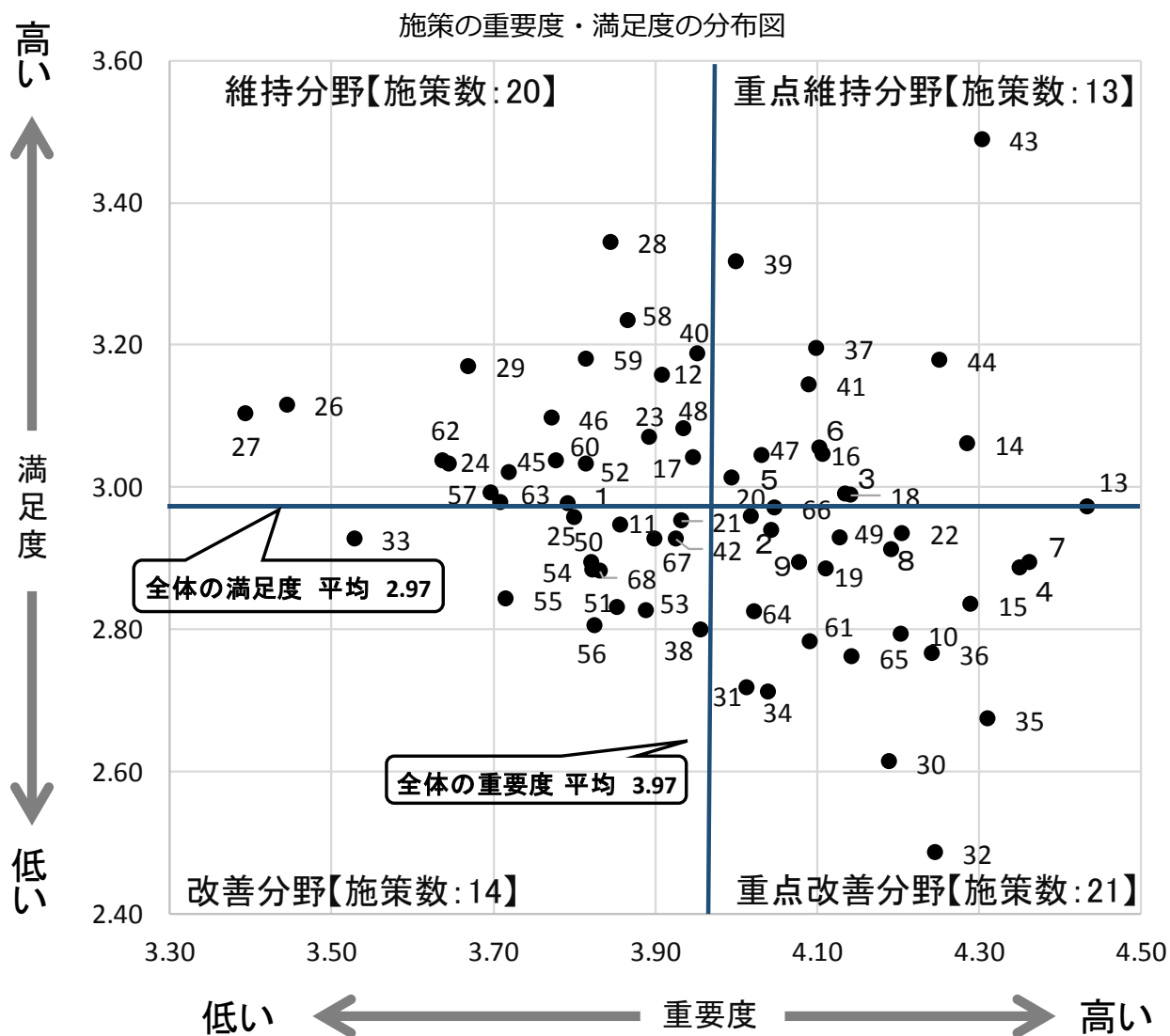
また、加重平均は、小数点第3位を四捨五入して小数点第2位までを表示しています。

(3) 全体の傾向

施策全体の満足度の平均値は 2.97 です。施策ごとの加重平均値は 2.48~3.49 の間に集中し、加重平均の中央にあたる 3 から上下に広がるように分布しています。一方、施策全体の重要度の平均値については 3.97 です。施策ごとの加重平均値は 3.39~4.43 の間に集中し、加重平均の中央値にあたる 3.0 より高い範囲で分布しています。

改善する優先度別に施策数をみると、優先度が最も高い〈重点改善分野〉が最も多く 21 の施策が分類されています。一方、強みとして強化していく〈重点維持分野〉は最も少なく、13 の施策が分類されています。

施策数		加重平均値	
		満足度	重要度
重点改善分野	21	平均	2.97
重点維持分野	13	最小値	2.48
維持分野	20	最大値	3.49
改善分野	14		3.97



分野別 方針	小分野	施策	重要度	満足度
1 福祉・健康・保健	社会福祉	1. 二宮町社会福祉協議会との協力・連携	3.79	2.98
		2. 相談・情報提供の充実	4.04	2.94
		3. 地域福祉の充実	4.13	2.99
	高齢者福祉	4. 地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
		5. 生きがいつくりと社会参加の促進	3.99	3.01
		6. 健康づくりと介護予防の促進	4.10	3.05
		7. 充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
	障がい者 (児)福祉	8. すべての人が共に生きる社会基盤づくり	4.19	2.91
		9. その人らしい生活への支援	4.08	2.89
		10. 療育・教育の充実、就労への支援	4.20	2.79
	健康・保健・ 医療	11. 社会参加への支援	3.86	2.95
		12. 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
		13. 地域医療の充実	4.43	2.97
	2 子育て・子育て、 教育	子育て・子育て	14. 母子保健の充実	4.29
15. 教育・保育環境の充実			4.29	2.83
16. 子育て中の親への支援の充実			4.11	3.05
17. 子育てコミュニティづくりの推進			3.95	3.04
小・中学校教育		18. 学童保育所の充実	4.14	2.99
		19. 教育内容の向上	4.11	2.88
		20. 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96
3 生涯学習・ 歴史・文化	生涯学習・ スポーツ、 歴史・文化	21. 教育相談の充実	3.93	2.95
		22. 安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
		23. 地域と連携した教育活動の充実	3.89	3.07
		24. 生涯学習推進の仕組みづくり	3.64	3.04
		25. 家庭・地域の教育力の向上	3.80	2.96
		26. 地域スポーツの振興	3.44	3.12
	土地利用、 都市整備	27. スポーツ活動支援の充実	3.39	3.10
		28. 文化・芸術の振興	3.84	3.34
		29. 町の歴史文化の継承	3.67	3.17
4 土地利用・都市基盤	土地利用、 都市整備	30. 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	4.19	2.61
		31. 空家を活用した定住促進のための住まいの確保	4.01	2.72
		32. 中心市街地等の整備・誘導	4.25	2.48
		33. 交流ゾーンの検討	3.53	2.93
	道路、交通、 下水道	34. 二宮海岸の砂浜の再生	4.04	2.71
		35. 道路の整備と管理	4.31	2.67
		36. 地域交通の確保	4.24	2.77
	公園・ 緑地	37. 公共下水道の整備と管理	4.10	3.19
		38. 公園・広場の充実と適切な管理運営	3.96	2.80
		39. 緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32

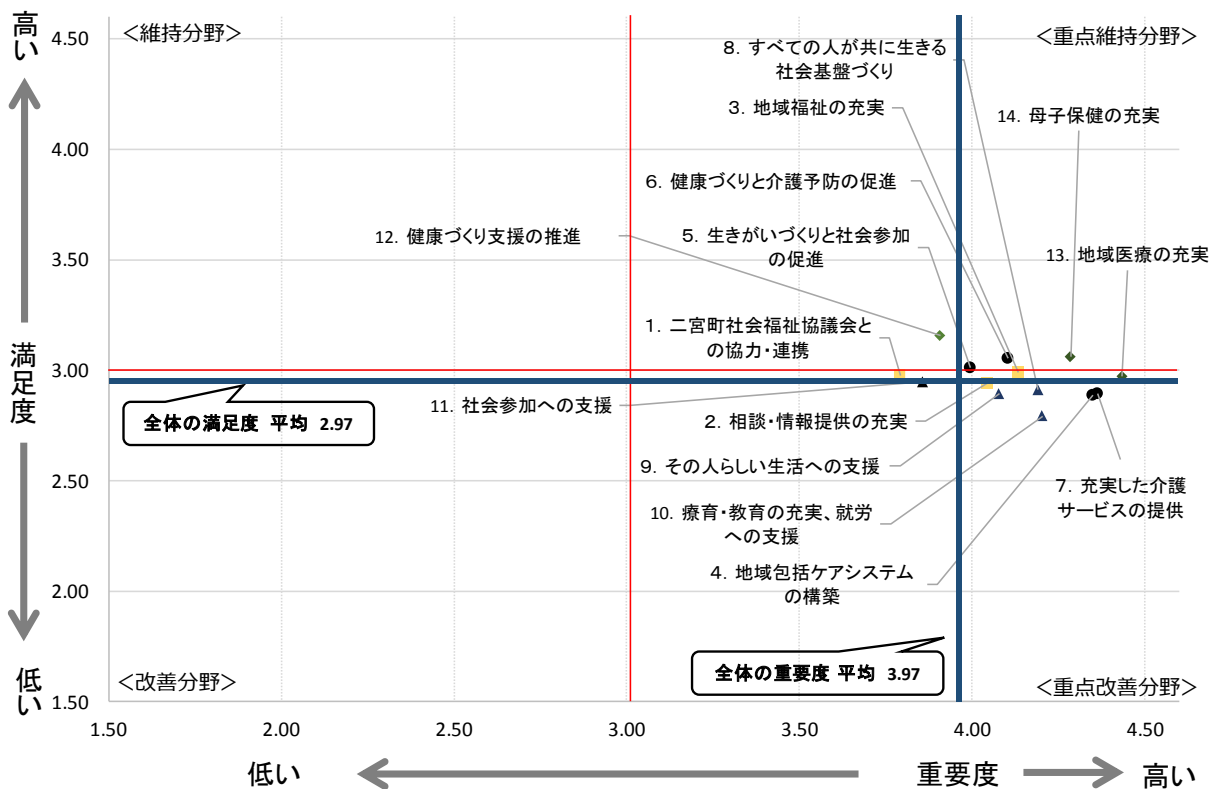
分野別 方針	小分野	施策	重要度	満足度
5 環境、 防災	環境保全	40. 自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
		41. 循環型社会の実現	4.09	3.14
		42. 低炭素社会の形成	3.93	2.93
	消防・救急、 安全・安心	43. 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
		44. 交通安全・防犯施設の充実強化	4.25	3.18
		45. 消費生活	3.72	3.02
		46. 地域の安全力の向上	3.77	3.10
	防災	47. 自助活動の推進	4.03	3.04
		48. 共助活動の推進	3.93	3.08
49. 公助活動と危機管理体制の強化		4.13	2.93	
6 産業・ 経済	農林漁業	50. 農林業振興の推進	3.82	2.89
		51. 水産振興の推進	3.85	2.83
		52. 特産品の普及と二宮ブランドとの連携	3.81	3.03
	商工業	53. 商工業の振興	3.89	2.83
		54. 中小企業への支援	3.82	2.88
		55. 起業支援	3.72	2.84
		56. 勤労者福祉の充実	3.83	2.80
		57. 二宮ブランドの普及・促進	3.70	2.99
	観光	58. 観光情報の発信の充実	3.87	3.23
7 自治体 経営	自治	59. 広報・広聴の充実	3.81	3.18
		60. 官民協働によるまちづくり活動の推進	3.78	3.04
		61. 職員の能力の向上	4.09	2.78
	地域コミュニティ	62. コミュニティ活動支援	3.65	3.03
		63. 人権・平和の推進	3.71	2.98
	行財政運営	64. 計画的な行財政改革の促進	4.02	2.82
		65. 安定的な財政基盤の確立	4.14	2.76
		66. 安全で効率的な情報システム運用	4.05	2.97
67. 公共施設の適正な維持管理・再編		3.90	2.93	
68. 広域連携の推進		3.83	2.88	
全体平均			3.97	2.97

(4) 分野別方針ごとの傾向

◆分野別方針1 福祉・健康・保健

全体的に重要度が高く、満足度は平均に近い結果になっていて、〈重点改善分野〉、〈重点維持分野〉に該当する施策が多い傾向にあります。

施策のうち、「4 地域包括ケアシステムの構築」、「7 充実した介護サービスの提供」及び「10 療育・教育の充実、就労への支援」などは、〈重点改善分野〉の中でも重要度は高く満足度が低い、改善する優先度の高い施策となっています。また、「14 母子保健の充実」は〈重点改善分野〉の中でも重要度と満足度が高く、引き続き強みとして強化していく施策といえます。

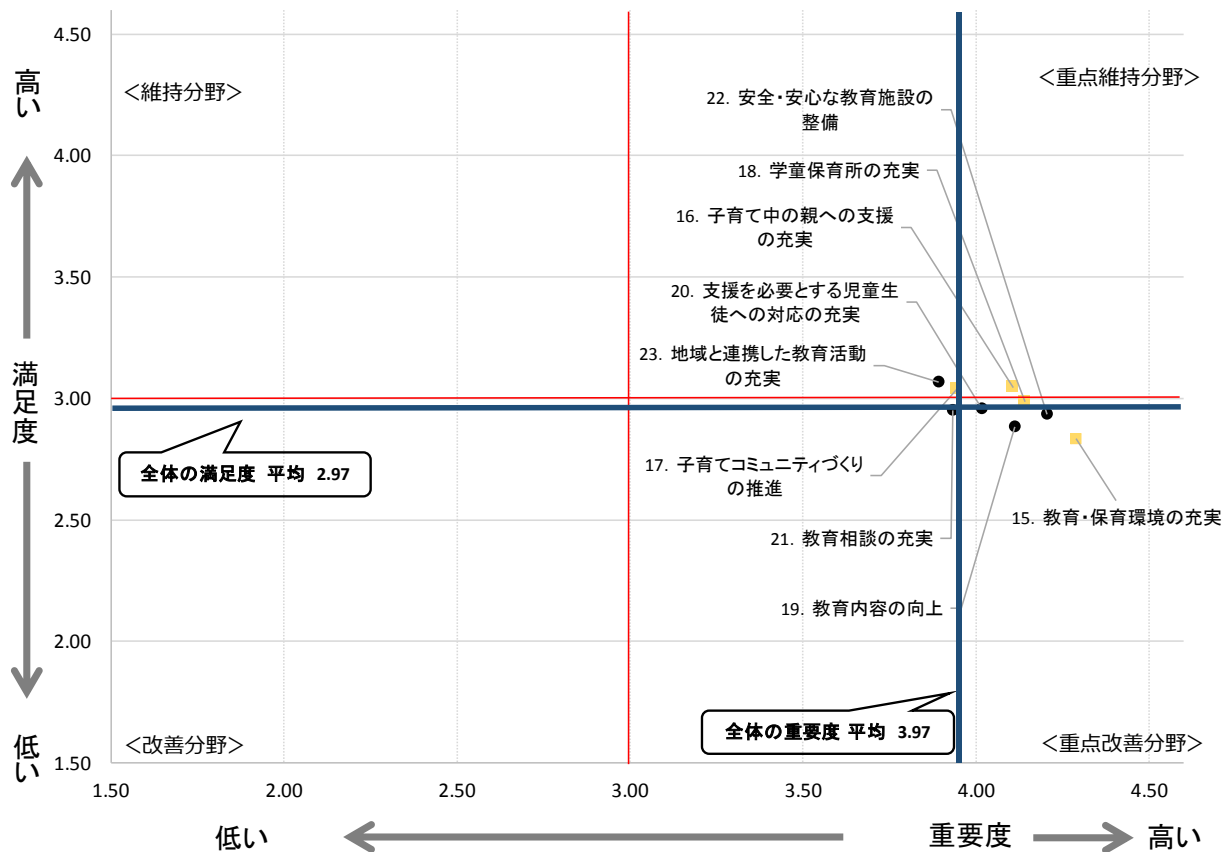


小分野	施策番号	凡例
社会福祉	1～3	■
高齢者福祉	4～7	●
障がい者(児)福祉	8～11	▲
健康・保健・医療	12～14	◆

◆分野別方針 2 子育て・子育て、教育

全体的に重要度は平均より高く、満足度は平均に近い結果になっていて、〈重点改善分野〉、〈重点維持分野〉に該当する施策が多い傾向にあります。

施策のうち、「15 教育・保育環境の充実」や「19 教育内容の向上」などは、施策全体と比較して重要度は高い中でも満足度が低く、改善する優先度の高い施策といえます。

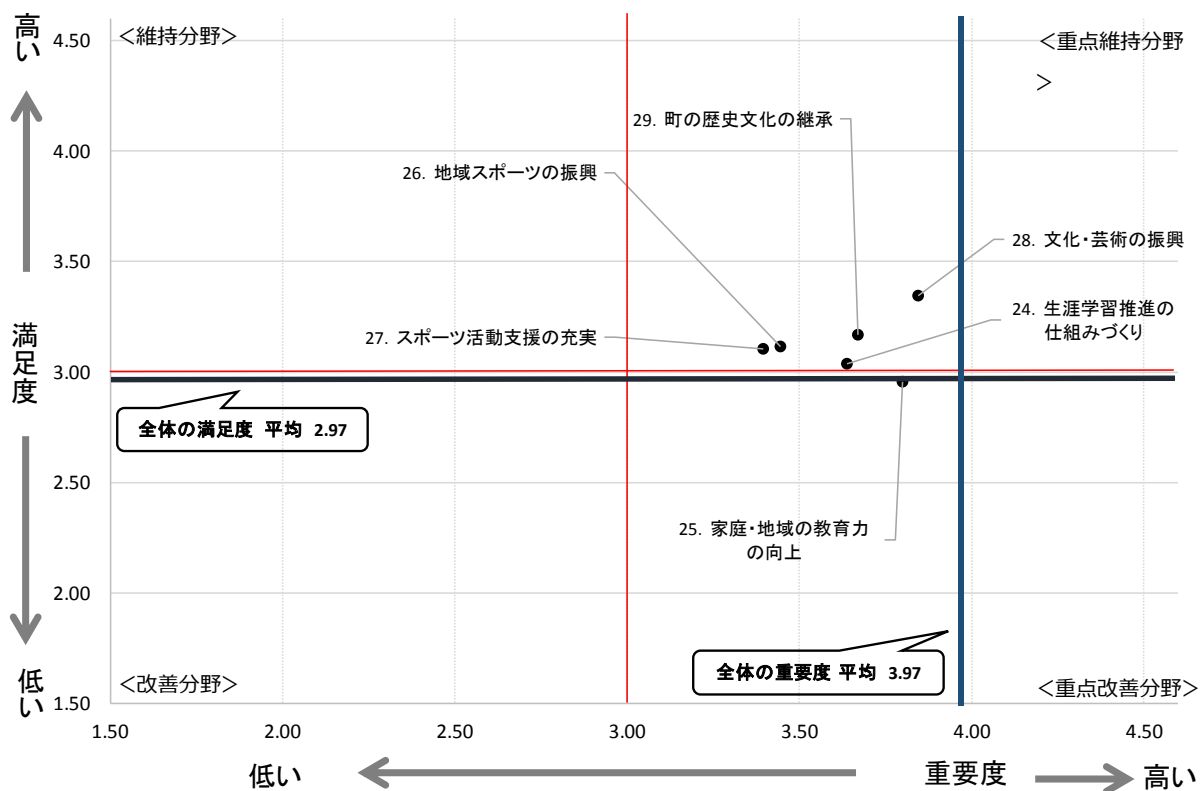


小分野	施策番号	凡例
子育て・子育て	15~18	■
小・中学校教育	19~23	●

◆分野別方針3 生涯学習・スポーツ・歴史・文化

全体的に重要度が平均を下回り、満足度は平均より高い結果になっていて、〈維持分野〉に該当する施策が多い傾向にあります。

分野別方針3の施策のうち「26 地域スポーツの振興」や「27 スポーツ活動支援の充実」など重要度が低く満足度が高い施策は町民ニーズをふまえ、施策の方向性などを見直す必要があると考えられます。



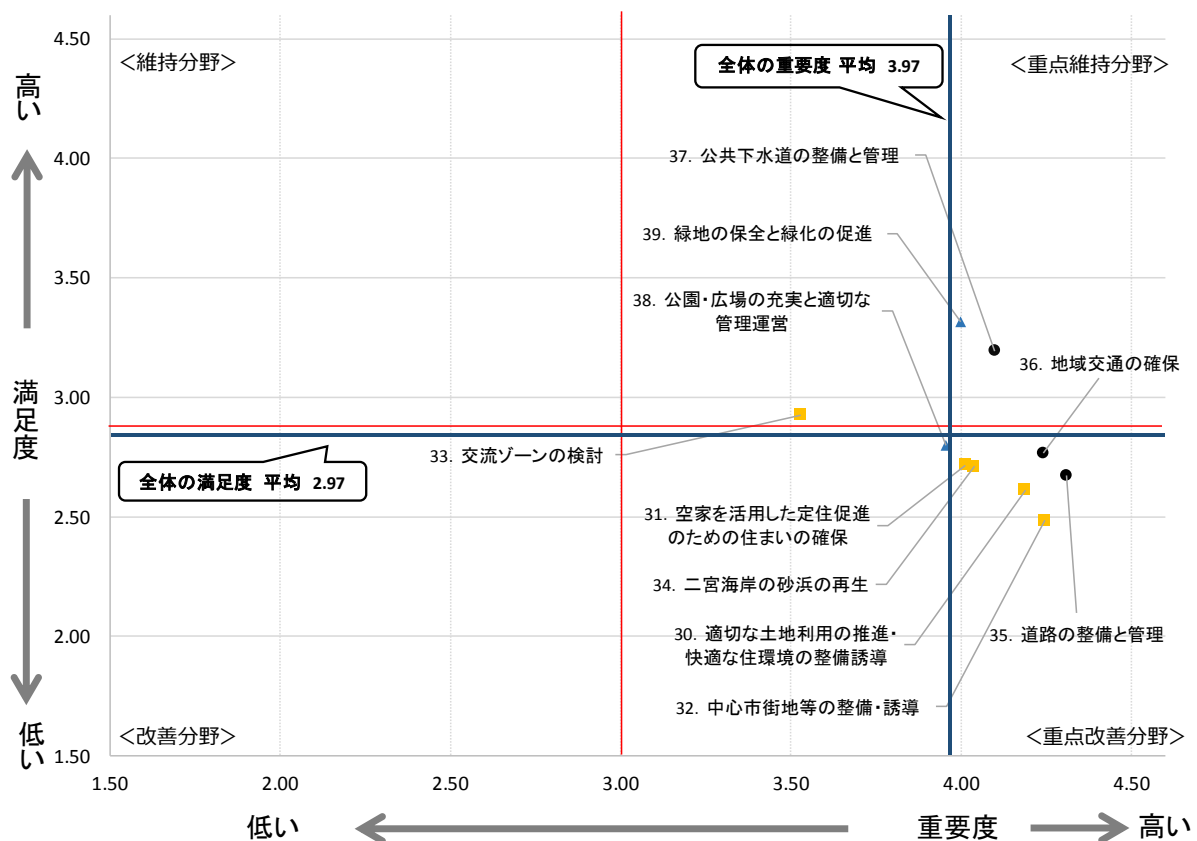
小分野	施策番号	凡例
生涯学習・スポーツ・歴史・文化	24~29	●

◆分野別方針 4 土地利用・都市基盤

全体的に重要度・満足度の高い施策が多くあり、〈重点改善分野〉に該当する施策が多い分野になっています。

満足度が低い「30 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導」、「32 中心市街地等の整備・誘導」をはじめとする土地利用・都市整備の分野や、「35 道路の整備と管理」、「36 地域交通の確保」については、〈重点改善分野〉の中でも改善する優先度の高い施策といえます。

「37 公共下水道の整備と管理」、「39 緑地の保全と緑化の促進」は重要度・満足度いずれも高く、強みとして強化していく施策といえます。

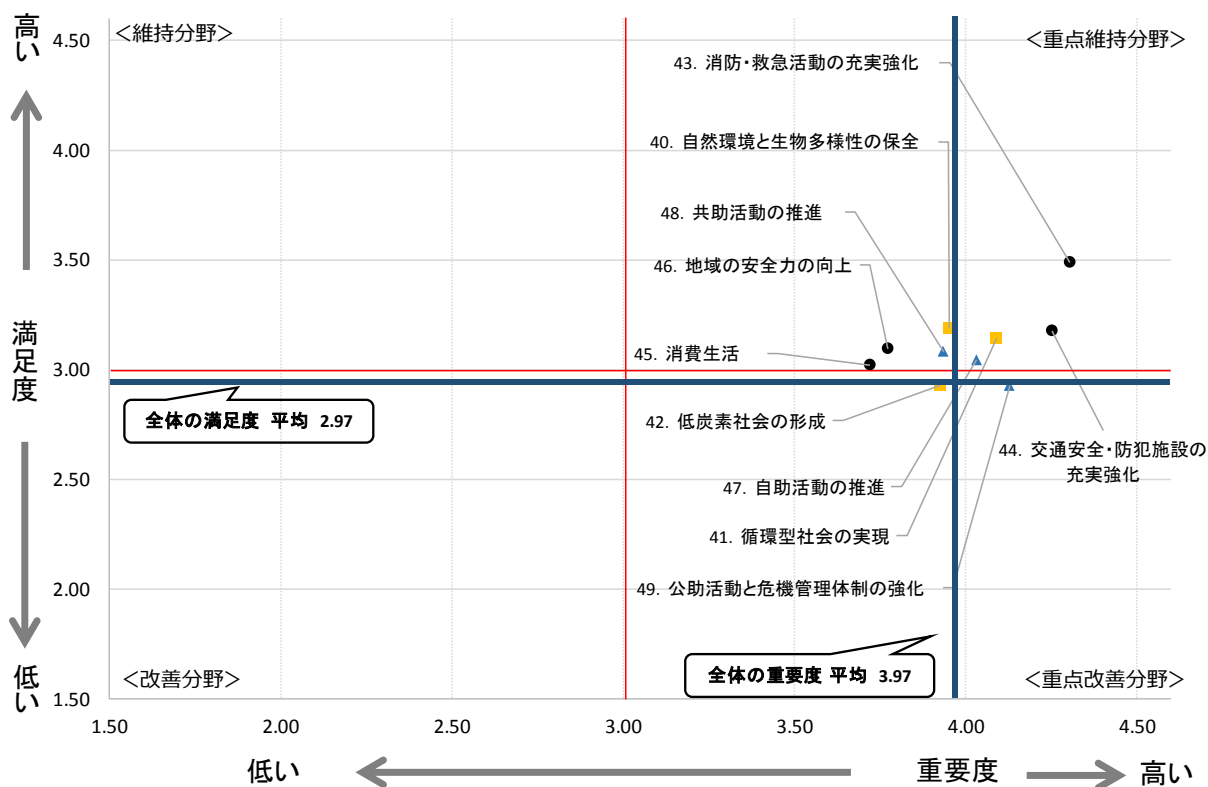


小分野	施策番号	凡例
土地利用、都市整備	30～34	■
道路、交通、下水道	35～37	●
公園・緑地	38～39	▲

◆分野別方針5 環境、防災

環境保全、防災の小分野は重要度および満足が平均に近く、消防・救急、安全・安心の小分野は、満足度は平均より高い一方で、重要度が高いものと低いもので評価が分かれる結果となりました。〈重点維持分野〉、〈維持分野〉に該当する施策が多い傾向にあります。

「43 消防・緊急活動の充実強化」や「44 交通安全・防犯施設の充実強化」などは、施策全体と比較して重要度・満足度が高く、強みとして強化していく施策といえます。

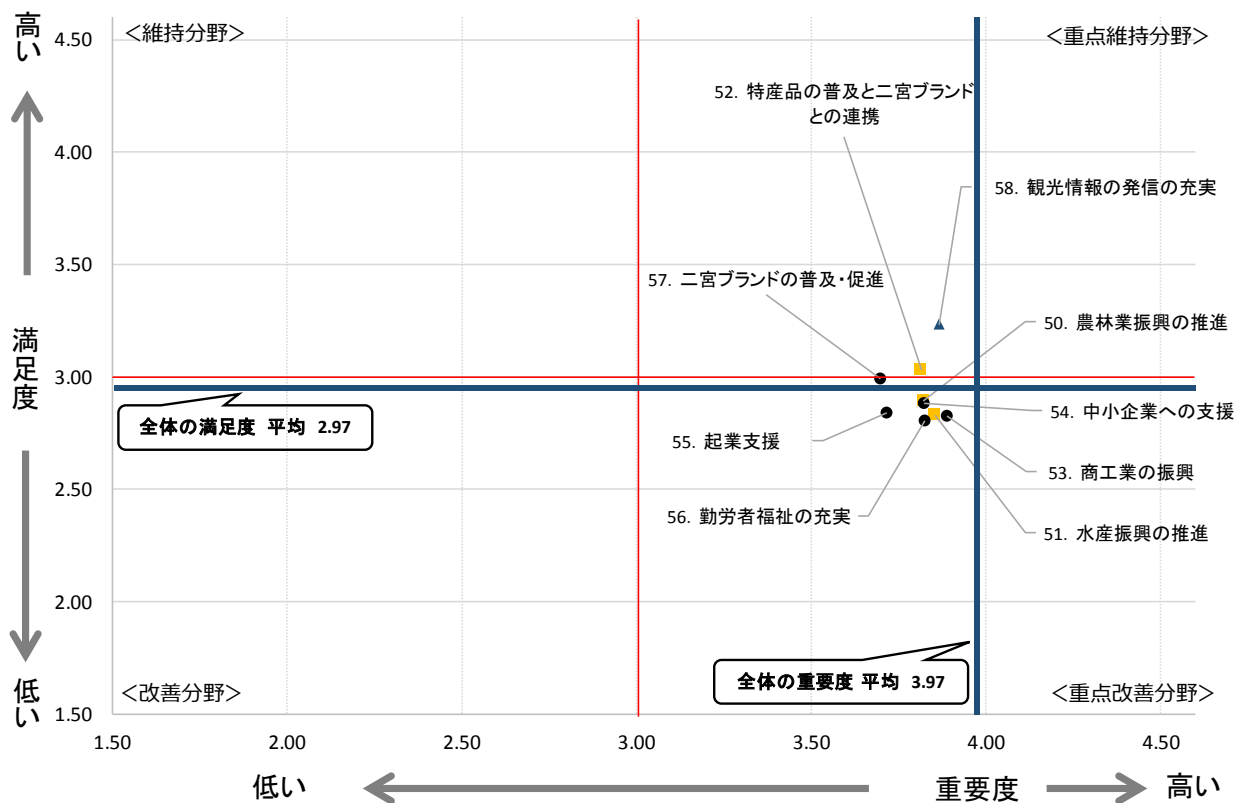


小分野	施策番号	凡例
環境保全	40～42	■
消防・救急、安全・安心	43～46	●
防災	47～49	▲

◆分野別方針6 産業・経済

全体的に重要度が低く、満足度は一部を除き平均よりやや低い結果になっていて、すべてが〈維持分野〉、〈改善分野〉に該当しています。

施策のうち、「55 起業支援」や、「56 勤労者福祉の充実」をはじめとして、町民ニーズをふまえ、施策の方向性などを見直す必要があると考えられます。

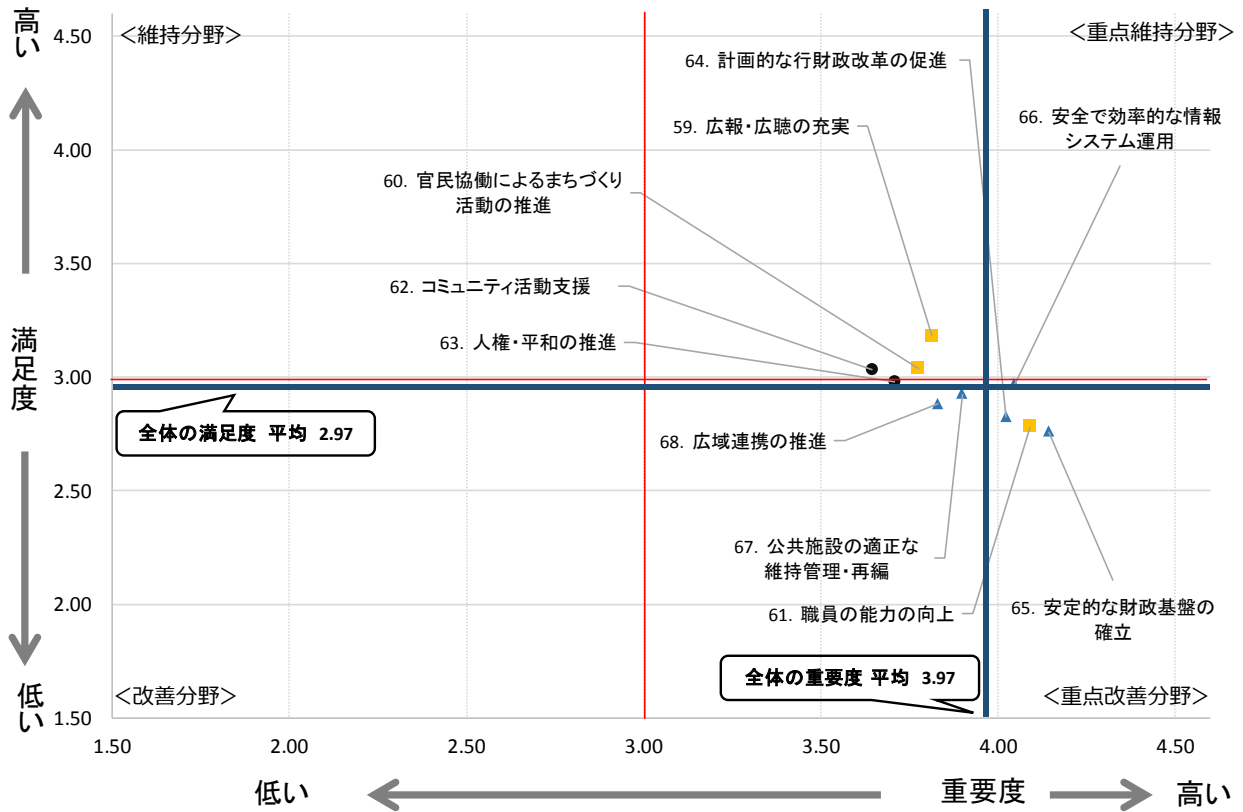


小分野	施策番号	凡例
農林漁業	50～52	■
商工業	53～57	●
観光	58	▲

◆分野別方針 7 自治体経営

重要度、満足度ともに平均に近い範囲内に分布する結果になっていて、〈維持分野〉、〈重点改善分野〉に該当する施策が多い傾向にあります。

施策のうち、「61 職員能力の向上」、「65 安定的な財政基盤の確立」をはじめ、重要度が高く満足度の低いものは、改善する優先度の高い施策といえます。

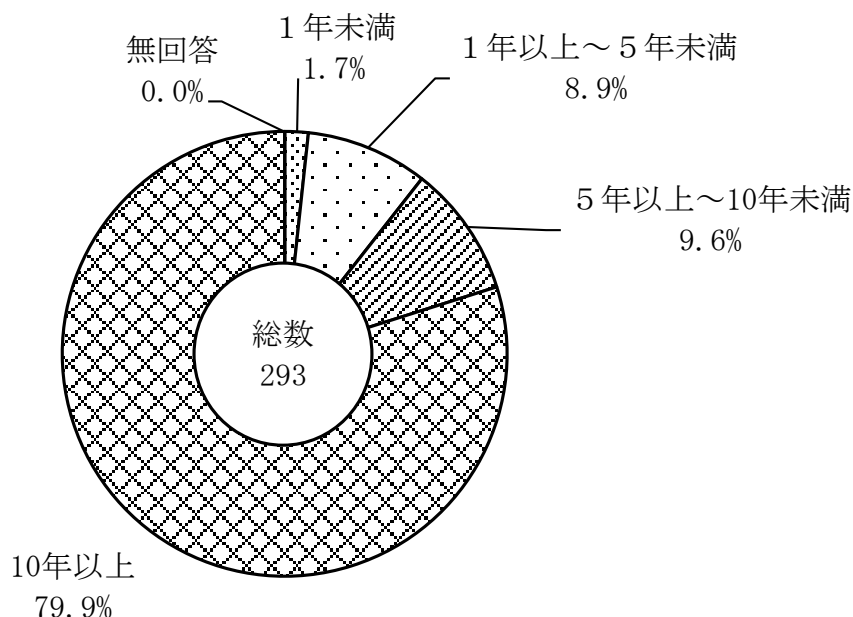


小分野	施策番号	凡例
自治	59～61	■
地域コミュニティ	62～63	●
行財政運営	64～68	▲

3-3 二宮町の居住環境について

(1) 居住年数

「10年以上」と答えた人が最も多く、全体の79.9%を占めていて、次いで、「5年以上～10年未満」が9.6%となっています。



(2) 定住意向

「ずっと住みたい」と答えた人が最も多く全体の43.7%で、「当分住みたい」と合わせた「住みたい(合計)」の割合は76.5%となっています。

一方、「できれば他へ移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合わせた「他へ移りたい(合計)」の割合は14.3%となっています。

【前回調査〈平成27年度(2015年度)町民満足度調査〉との比較】

「ずっと住みたい」は5.1ポイント増えていますが、「当分住みたい」と答えた人は5.1ポイント減っていて、「住みたい(合計)」の割合は前回調査と同様に76.5%となっています。

「できれば他へ移りたい」と答えた人は3.6増えていますが、「すぐにでも他へ移りたい」と答えた人は前回と同様に1.7%となっていて、「他へ移りたい(合計)」の割合は3.6%増えています。

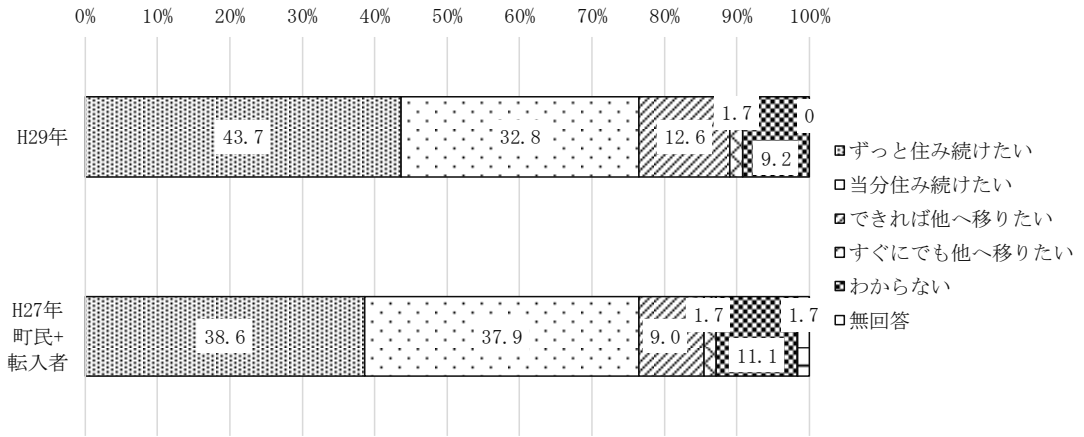
【年齢別の比較】

若い年代ほど、「ずっと住みたい」と答えた人の割合が少なくなっています。「当分住みたい」と答えた人の割合が多い年代は子育て世代の40歳代、次いで30歳代となっています。「できれば他へ移りたい」と答えている人が多い年代は20歳代、次いで50歳代となっています。

【性別の比較】

「ずっと住みたい」と答えた割合は男性が52.5%となっており、女性を12.5ポイント上回っています。一方、「できれば他へ移りたい」と答えた割合は女性が12.5%となっており、男性を0.8ポイント上回っています。

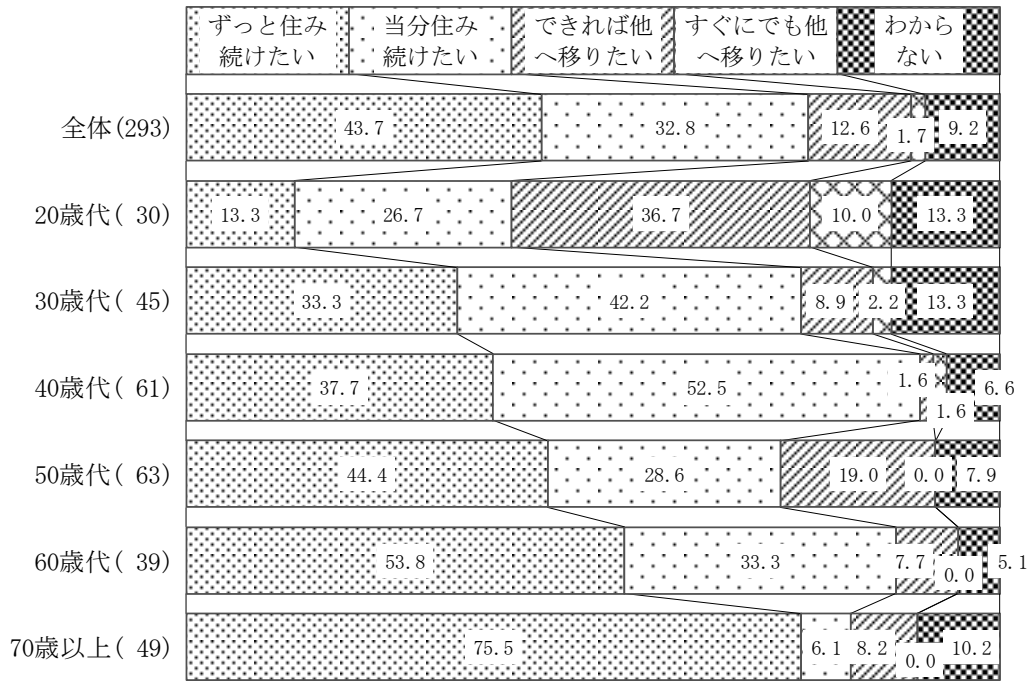
前回調査との比較



(H29年総計=293、H27町民+転入者年総計=665)

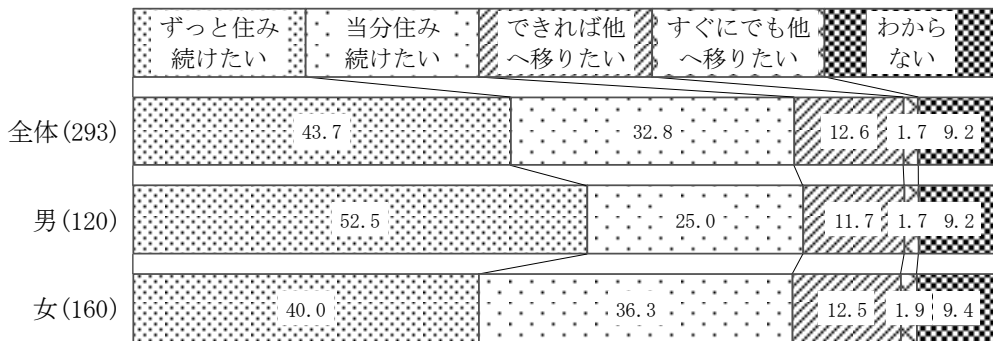
年齢別の比較

単位:%



男女別の比較

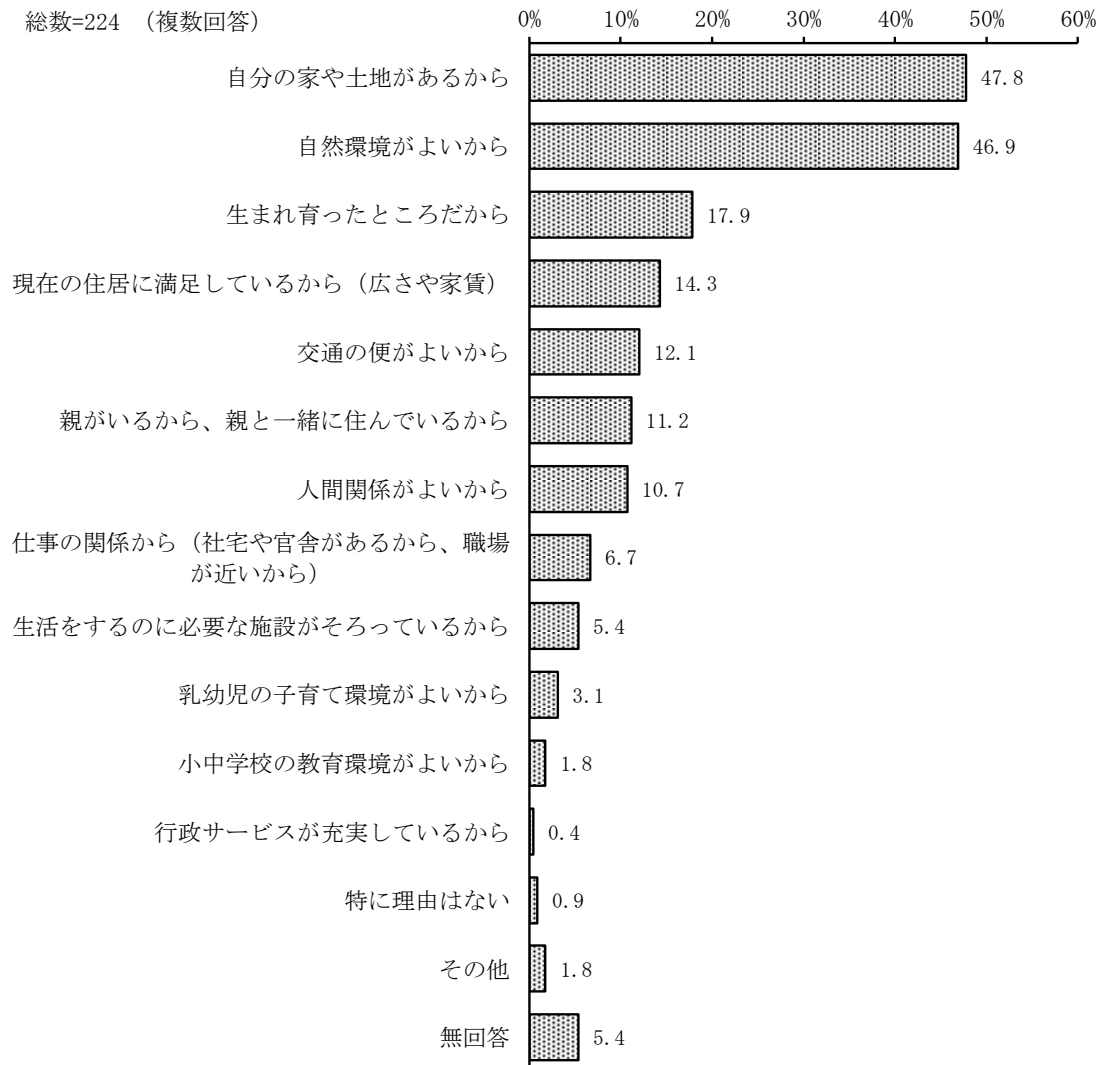
単位:%



【(2)で「ずっと住みたい」、または「当分住みたい」を選んだ方に伺います。】

(2) - 1 住みたい理由

「自分の家や土地があるから」が最も多く、全体の47.8%を占めています。次いで、「自然環境がよいから」が46.9%、「生まれ育ったところだから」が17.9%、「現在の住居に満足しているから（広さや家賃）」が14.3%となっています。

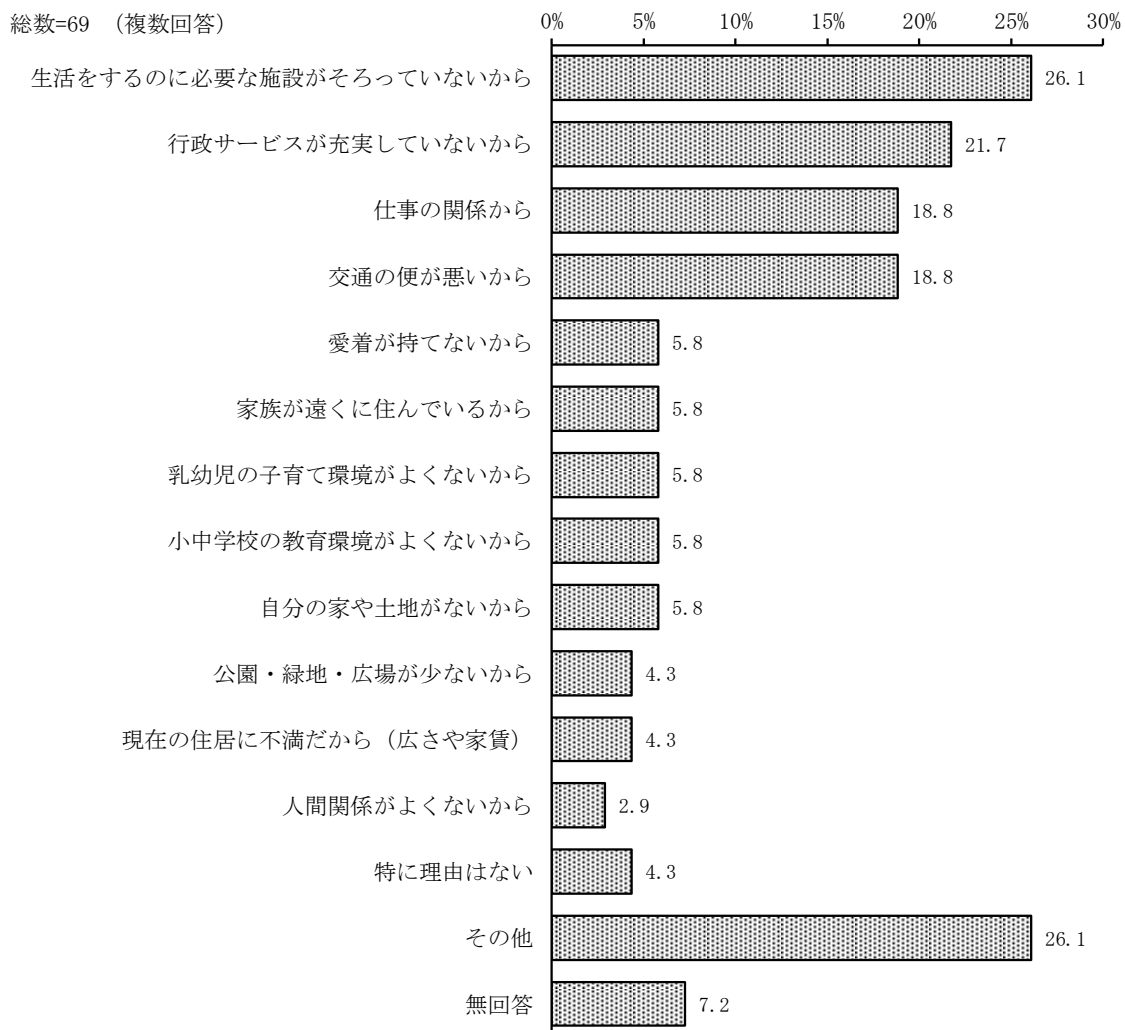


【(2)で「できれば他へ移り住みたい」、または「すぐに他へ移りたい」を選んだ方に伺います。】

(2) - 2 他へ移りたい理由

「生活するのに必要な施設がそろっていないから」が最も多く 26.1%に、次いで、「行政サービスが充実していないから」が 21.7%の順で多く、「仕事の関係から」、「交通の便が悪いから」の 18.8%を上回っています。

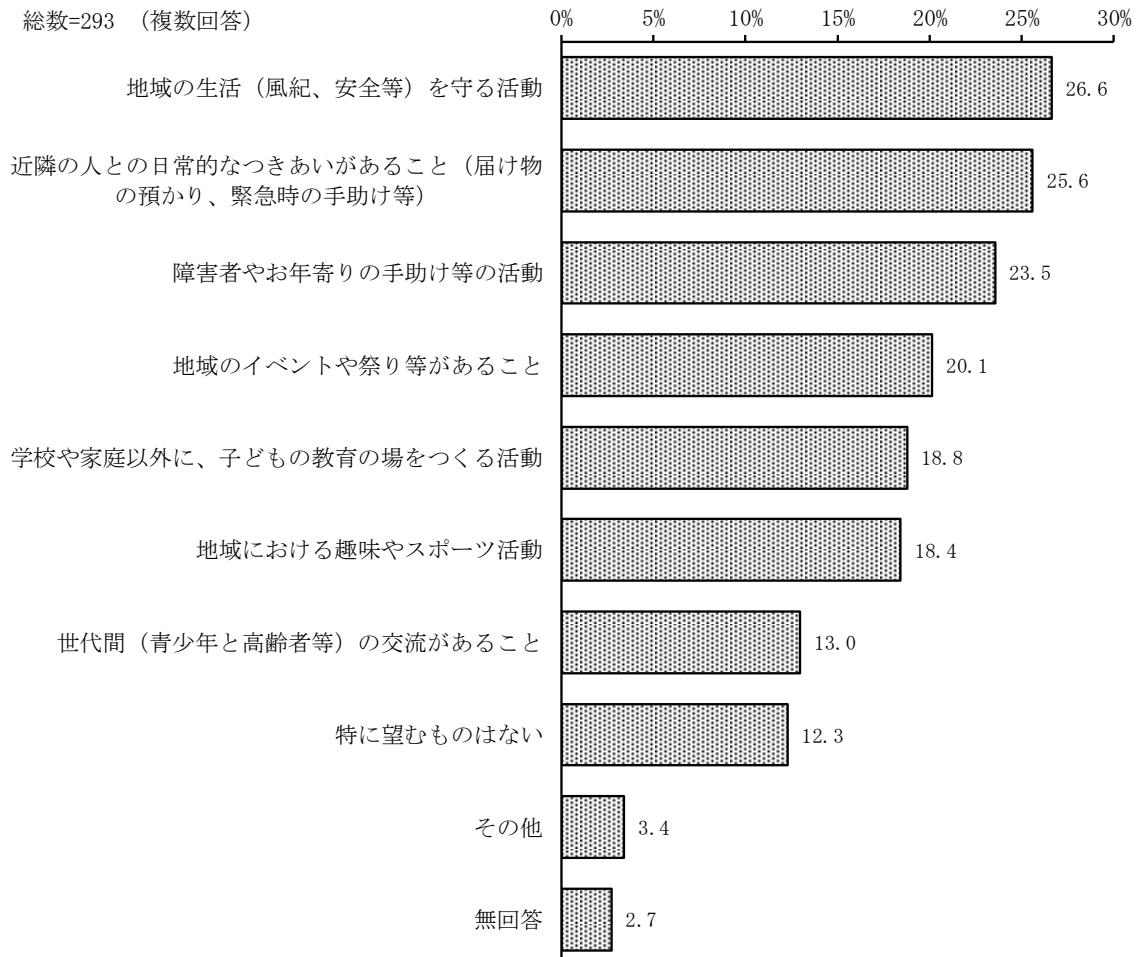
その他の回答には、「駅前が寂れている」、「本屋、CDショップ、娯楽施設がない」、「高齢者福祉が機能していない」、「休日のバスの本数が少ない」などの意見がありました。



3-4 地域づくり・地域活動について

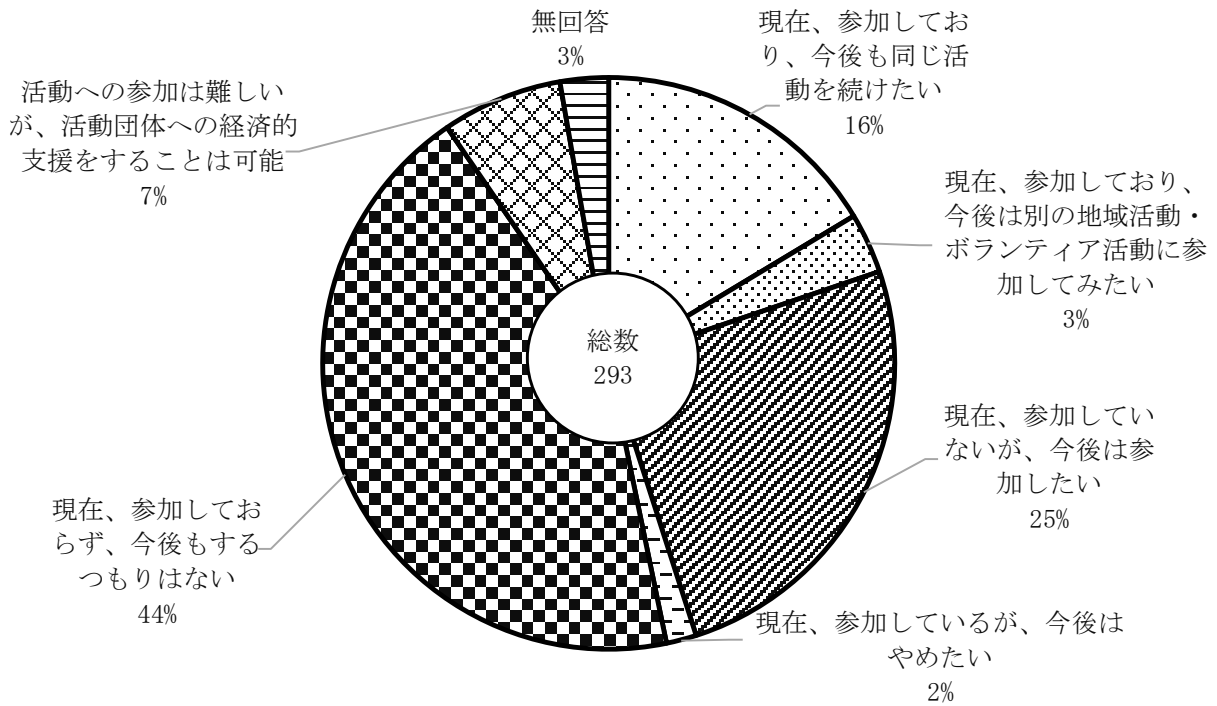
(1) 地域や地域活動・ボランティア活動に対して望むこと

「地域の生活（風紀、安全等）を守る活動」が26.6%で最も多く、「近隣の人との日常的なつきあいがあること（届け物の預かり、緊急時の手助け等）」が25.6%、「障害者やお年寄りの手助け等の活動」が23.5%、「地域のイベントや祭り等があること」が20.1%で続きます。



(2) 地域活動やボランティア活動等への参加状況および今後の参加意向

「現在、参加しておらず、今後もするつもりがない」と答えた人が最も多く、全体の43.7%となっています。次いで、「現在、参加していないが今後は参加してみたい」が25.3%、「現在、参加しており、今後も同じ活動を続けたい」が16.4%の順で続きます。

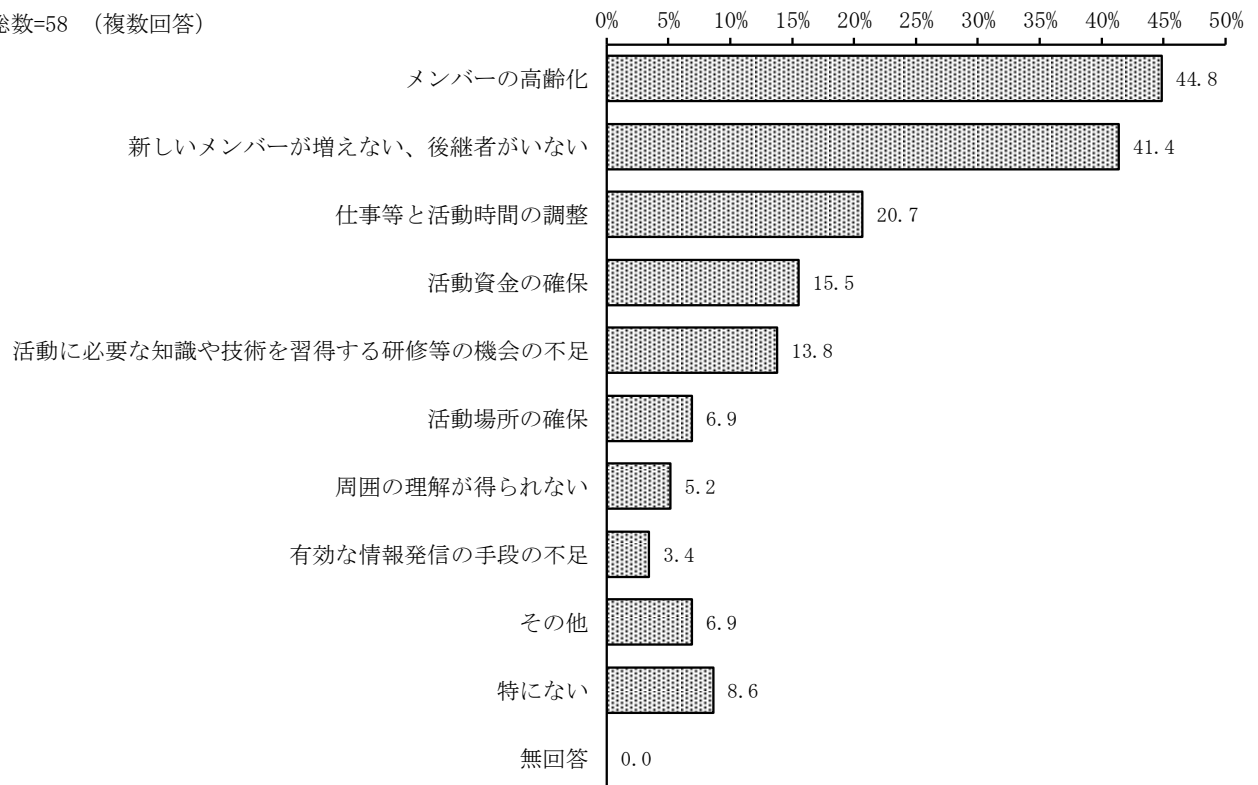


【(2) で1または2を選んだ方に伺います。】

(2) - 1 地域活動やボランティア活動に参加するうえでの課題

「メンバーの高齢化」、「新しいメンバーが増えない、後継者がいない」といった人的資源に関することが、それぞれ全体の44.8%、41.4%となっていて、次いで、割合の多い「仕事等との活動時間の調整」、「活動資金の確保」を20ポイント程度上回っています。

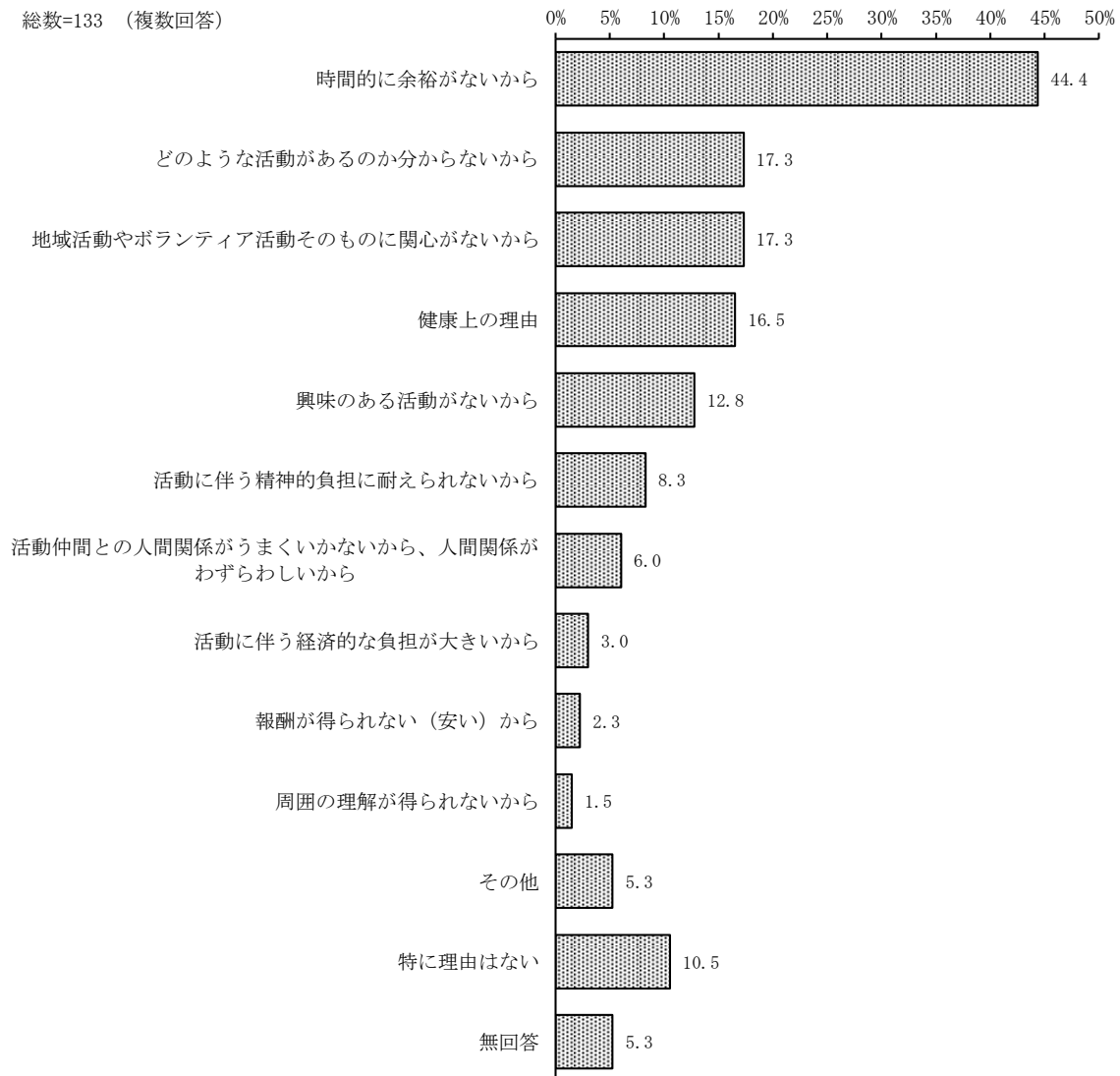
総数=58 (複数回答)



【(2) で4または5を選んだ方に伺います。】

(2) - 2 地域活動やボランティア活動をやめたい、または、参加していない理由

「時間的に余裕がないから」が44.4%と最も多く、「どのような活動があるか分からないから」、「地域活動やボランティア活動そのものに関心がないから」の17.3%を27.1ポイント上回っています。



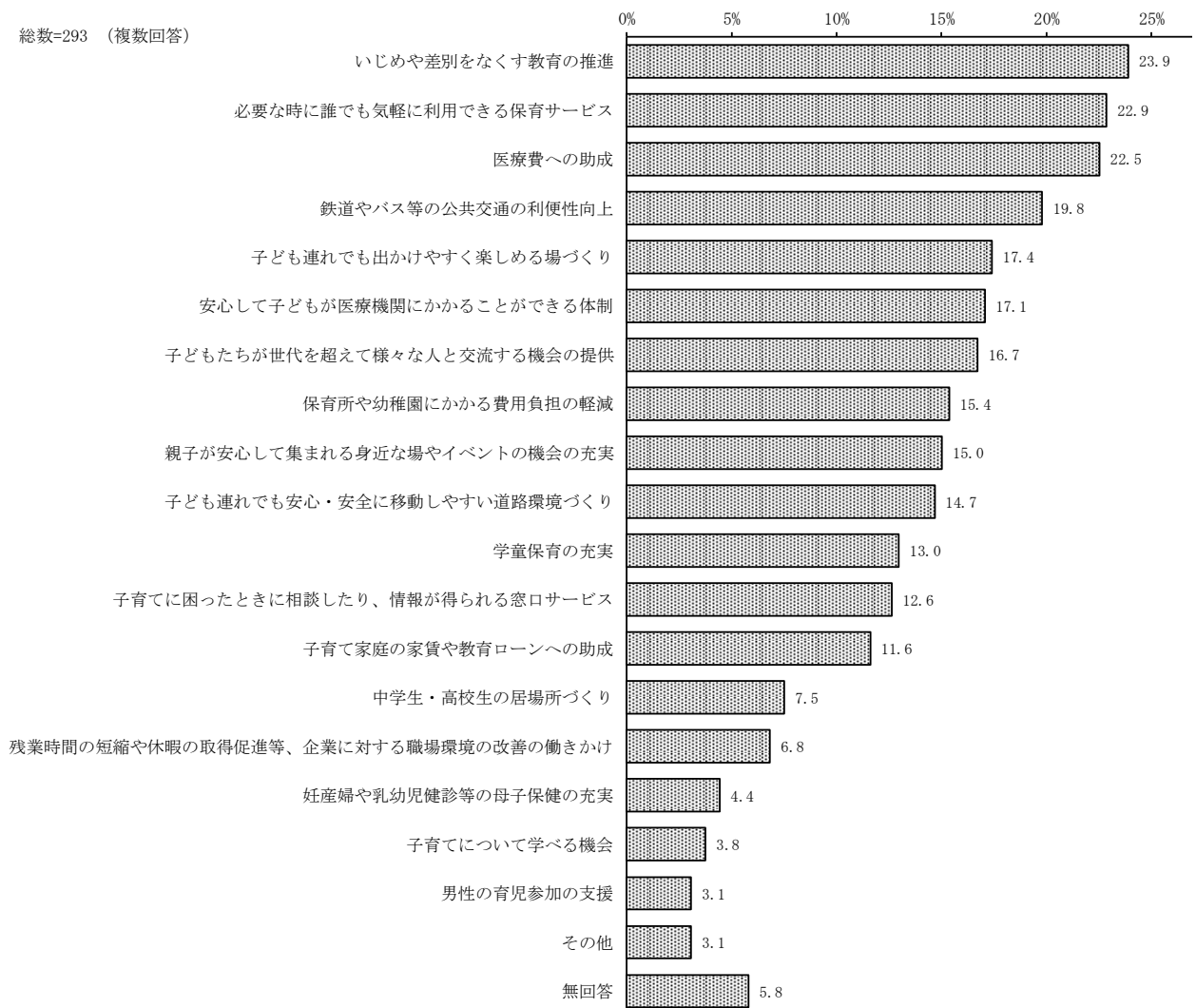
3-5 子育て・高齢者について

(1) 子育て支援対策で充実させていくべき取り組み

「いじめや差別をなくす教育の推進」が23.9%で最も多く、「必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス」が22.9%、「医療費への助成」が22.5%、「鉄道やバス等の公共交通の利便性向上」が19.8%で続きます。

【年齢別の比較】

30歳代では、「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が31.1%で最も多く、「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり」が26.7%、「必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス」及び「医療費への助成」が24.4%と続き、40歳代では、「医療費への助成」が29.5%で最も多く、次いで、「いじめや差別をなくす教育の推進」が26.2%、「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制」が24.6%、「必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス」、「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が21.3%となっています。



年齢別の比較

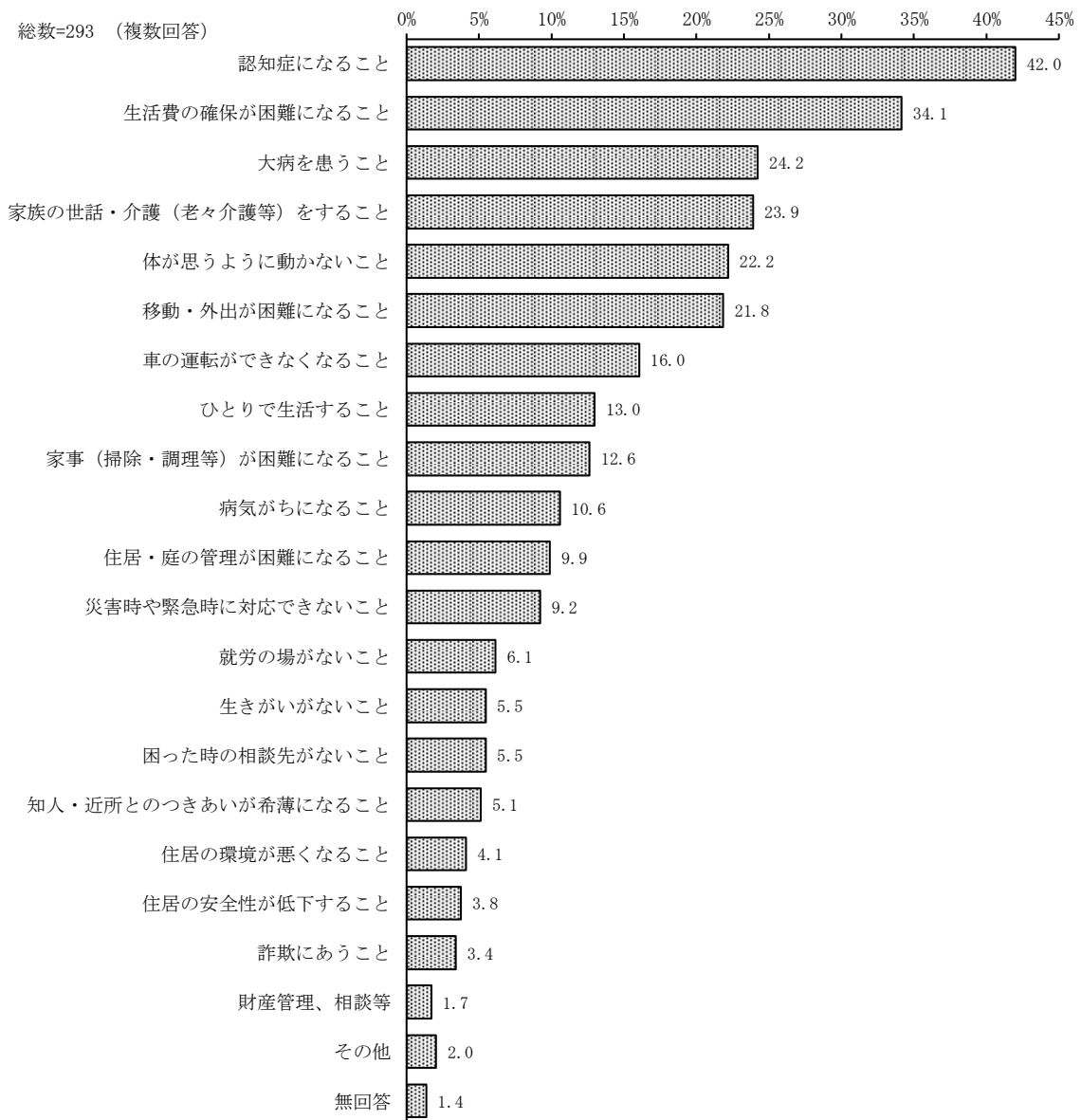
	いじめや差別をなくす教育の推進	必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス	医療費への助成	鉄道やバス等の公共交通の利便性向上	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり	かかっている子どもが医療機関にかかることができる体制	様々な人と交流する機会の提供	保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減	身近な場やイベントの機会の充実	移動しやすい道路環境づくり	学童保育の充実	情報が得られる窓口サービス	子育て家庭の家賃や教育ローンへの助成	中学生・高校生の居場所づくり	企業に対する職場環境の改善の促進等、働きかけ	妊娠前や乳幼児健診等の母子保健の充実	子育てについて学べる機会	男性の育児参加の支援	その他	無回答
全体	23.9	22.9	22.5	19.8	17.4	17.1	16.7	15.4	15.0	14.7	13.0	12.6	11.6	7.5	6.8	4.4	3.8	3.1	3.1	5.8
年齢	20歳代	16.7	20.0	13.3	16.7	30.0	3.3	23.3	13.3	13.3	3.3	10.0	13.3	10.0	13.3	13.3	13.3	3.3	3.3	6.7
	30歳代	15.6	24.4	24.4	11.1	26.7	22.2	31.1	17.8	6.7	22.2	11.1	20.0	6.7	6.7	8.9	4.4	4.4	4.4	2.2
	40歳代	26.2	21.3	29.5	13.1	11.5	24.6	14.8	21.3	18.0	14.8	9.8	19.7	11.5	8.2	-	3.3	8.2	-	-
	50歳代	20.6	30.2	17.5	23.8	14.3	12.7	15.9	6.3	6.3	15.9	17.5	7.9	4.8	11.1	3.2	-	-	6.3	6.3
	60歳代	38.5	17.9	23.1	23.1	17.9	20.5	23.1	7.7	15.4	20.5	12.8	15.4	2.6	10.3	-	5.1	7.7	-	-
70歳以上	24.5	22.4	24.5	28.6	14.3	12.2	18.4	6.1	18.4	10.2	4.1	6.1	6.1	4.1	-	2.0	-	2.0	4.1	18.4
無回答	33.3	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7

(2) 高齢期（高齢期になった時）の生活の不安

「認知症になること」が42.0%で最も多く、「生活費の確保が困難になること」が34.1%、「大病を患うこと」が24.2%、「家族の世話・介護（老々介護等）をすること」が23.9%で続きます。

【年齢別の比較】

最も多い割合となっているものについては、50歳代～70歳代は「認知症になること」であるのに対して、20歳代～40歳代については「生活費の確保が困難になること」となっています。次に多い割合となっているものは、60歳代～70歳代は「移動・外出が困難になること」となっていて、50歳代は「生活費の確保が困難になること」、20歳代～40歳代は「認知症になること」となっています。



年齢別の比較

		認知症になること	生活費の確保が困難になること	大病を患うこと	家族の世話・介護（老々介護等）をすること	体が思うように動かないこと	移動・外出が困難になること	車の運転ができなくなること	ひとりで生活すること	家事（掃除・調理等）が困難になること	病気がちになること	住居・庭の管理が困難になること	災害時や緊急時に対応できないこと	就労の場がないこと	生きがいがいないこと	困った時の相談先がないこと	知人・近所とのつきあいが希薄になること	住居の安全性が低下すること	住居の環境が悪くなること	詐欺にあうこと	財産管理、相談等	その他	無回答	
	全体	42.0	34.1	24.2	23.9	22.2	21.8	16.0	13.0	12.6	10.6	9.9	9.2	6.1	5.5	5.5	5.1	3.8	4.1	3.4	1.7	2.0	1.4	
年齢	20歳代	26.7	36.7	16.7	26.7	16.7	30.0	10.0	6.7	3.3	-	3.3	23.3	10.0	6.7	6.7	3.3	-	10.0	10.0	3.3	-	3.3	
	30歳代	35.6	53.3	26.7	28.9	24.4	13.3	17.8	15.6	4.4	6.7	6.7	6.7	6.7	2.2	4.4	-	2.2	6.7	8.9	-	2.2	2.2	
	40歳代	41.0	45.9	27.9	34.4	21.3	16.4	16.4	11.5	18.0	4.9	13.1	4.9	6.6	9.8	8.2	1.6	1.6	1.6	-	1.6	3.3	-	
	50歳代	46.0	39.7	17.5	19.0	20.6	20.6	20.6	9.5	12.7	7.9	9.5	7.9	7.9	4.8	9.5	7.9	4.8	3.2	1.6	3.2	3.2	1.6	
	60歳代	43.6	23.1	25.6	10.3	28.2	28.2	28.2	23.1	10.3	12.8	17.9	10.3	12.8	7.7	-	5.1	2.6	7.7	2.6	-	-	2.6	-
	70歳以上	51.0	4.1	28.6	24.5	20.4	20.4	30.6	20.4	16.3	20.4	24.5	14.3	8.2	-	2.0	12.2	8.2	-	2.0	2.0	-	-	-
	無回答	50.0	16.7	33.3	-	33.3	-	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	

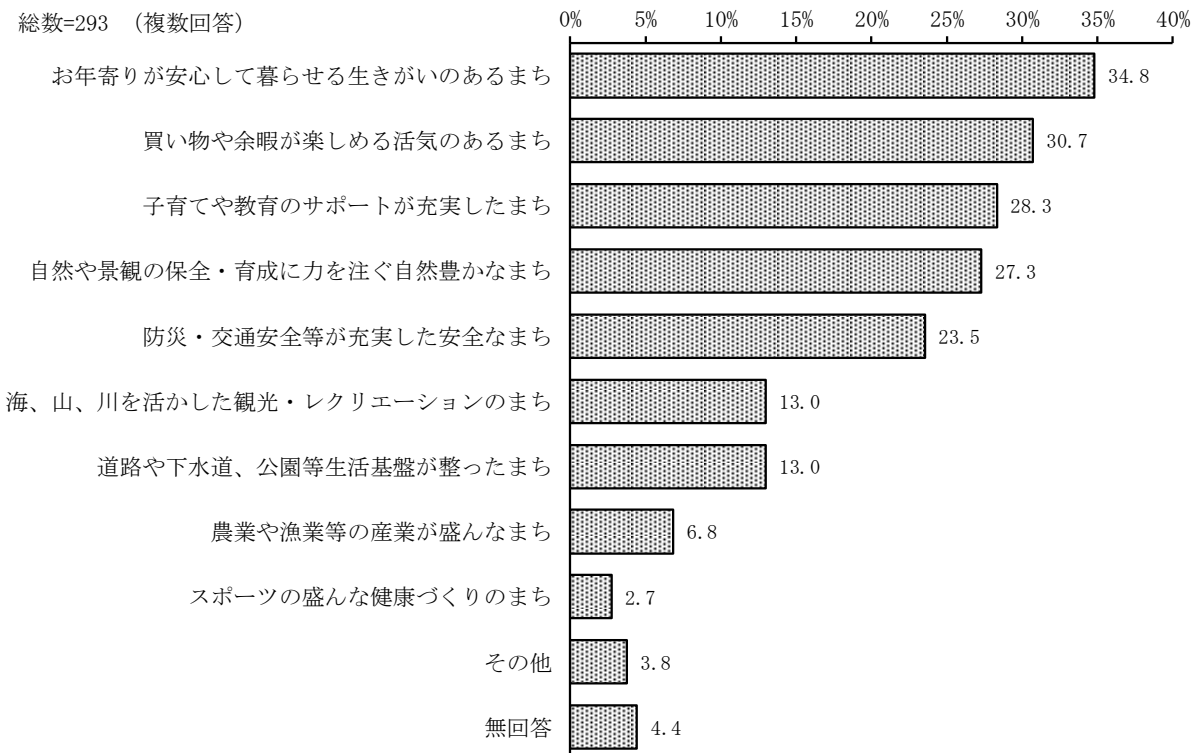
3-6 これからの二宮町について

(1) 二宮町の将来のまちのあり方について

「お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち」が 34.8%で最も多く、「買い物や余暇が楽しめる活気のあるまち」が 30.7%、「子育てや教育のサポートが充実したまち」が 28.3%、「自然や景観の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち」が 27.3%の順で割合が多くなっています。

【年齢別の比較】

50 歳代及び 70 歳代は「お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち」、60 歳代は「お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち」及び「自然や景観の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち」となっているのに対して、30 歳代～40 歳代については「子育てや教育のサポートが充実したまち」、20 歳代は「子育てや教育のサポートが充実したまち」及び「買い物や余暇が楽しめる活気のあるまち」となっています。

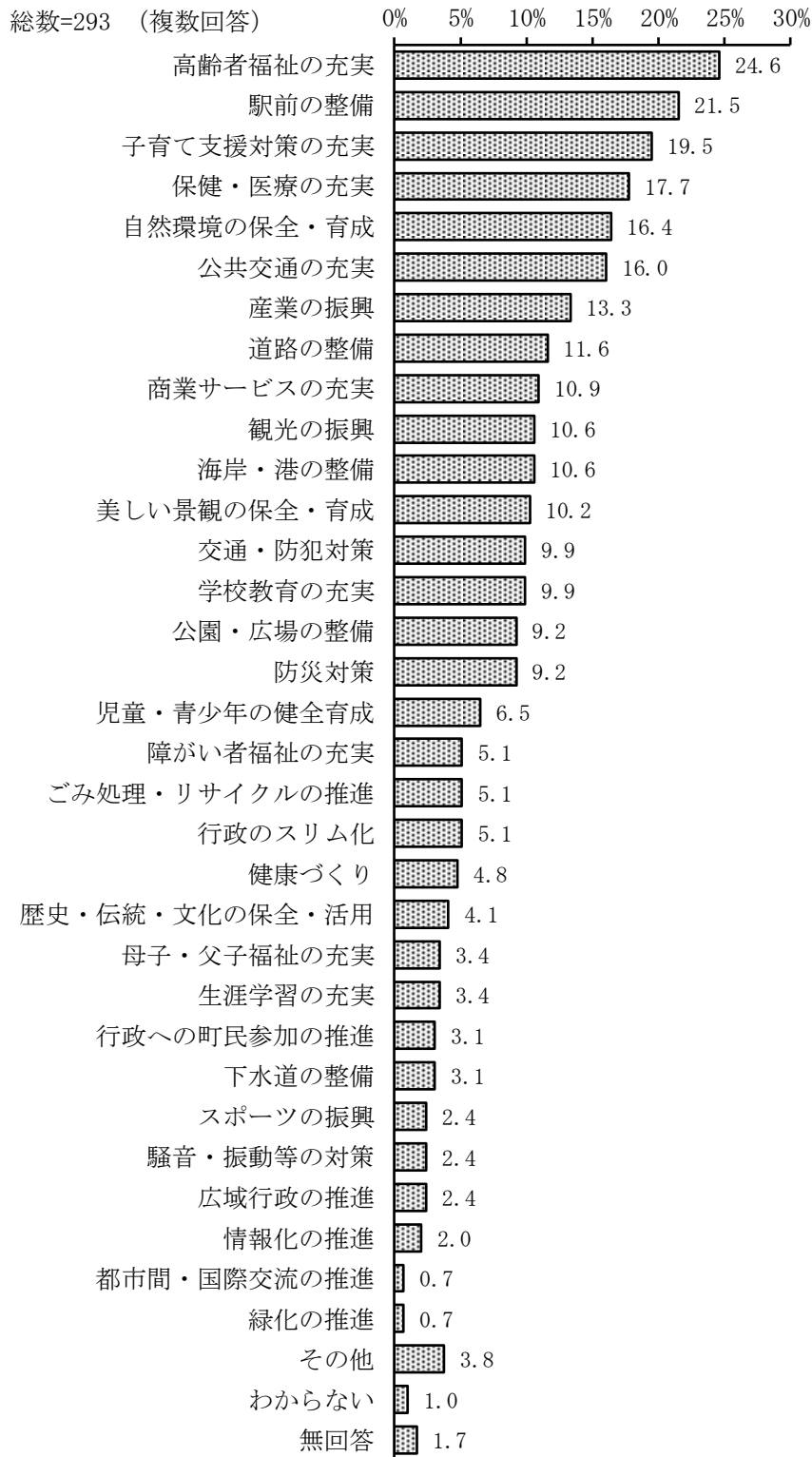


年齢別の比較

		お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち	買い物や余暇が楽しめる活気のあるまち	子育てや教育のサポートが充実したまち	自然や景観の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち	防災・交通安全等が充実した安全なまち	海、山、川を活かした観光・レクリエーションのまち	道路や下水道、公園等生活基盤が整ったまち	農業や漁業等の産業が盛んなまち	スポーツの盛んな健康づくりのまち	その他	無回答
全体		34.8	30.7	28.3	27.3	23.5	13.0	13.0	6.8	2.7	3.8	4.4
年齢	20歳代	23.3	30.0	30.0	26.7	20.0	16.7	16.7	16.7	-	6.7	3.3
	30歳代	15.6	33.3	44.4	28.9	13.3	15.6	24.4	6.7	6.7	2.2	2.2
	40歳代	32.8	32.8	42.6	21.3	26.2	11.5	9.8	4.9	-	1.6	3.3
	50歳代	38.1	31.7	19.0	30.2	27.0	14.3	11.1	-	1.6	6.3	4.8
	60歳代	38.5	17.9	15.4	38.5	35.9	12.8	12.8	5.1	5.1	5.1	5.1
	70歳以上	55.1	34.7	14.3	24.5	16.3	10.2	8.2	12.2	4.1	2.0	6.1
	無回答	33.3	33.3	50.0	-	33.3	-	-	16.7	-	-	16.7

(2) 二宮町が今後力をいれていくべきこと

「高齢者福祉の充実」が24.6%で最も多く、「駅前の整備」が21.5%、「子育て支援対策の充実」が19.5%、「保健・医療の充実」が17.7%で続きます。



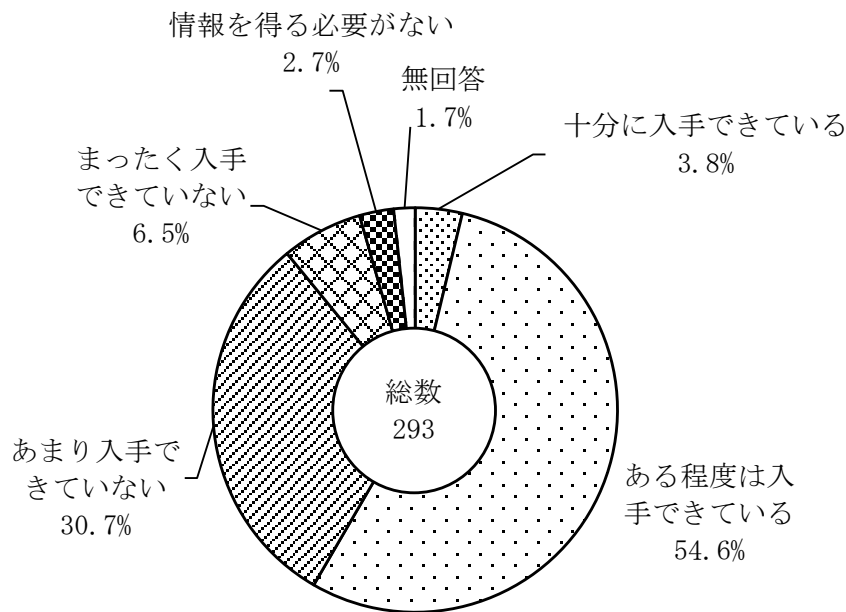
3-7 町民参加

(1) 町行政や地域の活動に関する情報を充分に入手できていると思うか

「ある程度は入手できている」と答えた人が最も多く、全体の54.6%を占めています。「ある程度は入手できている」と「十分に入手できている」を合わせた「入手できている(合計)」の割合は58.4%となっています。一方で、「あまり入手できていない」と「まったく入手できていない」を合わせた「入手できていない(合計)」の割合は37.2%となっています。

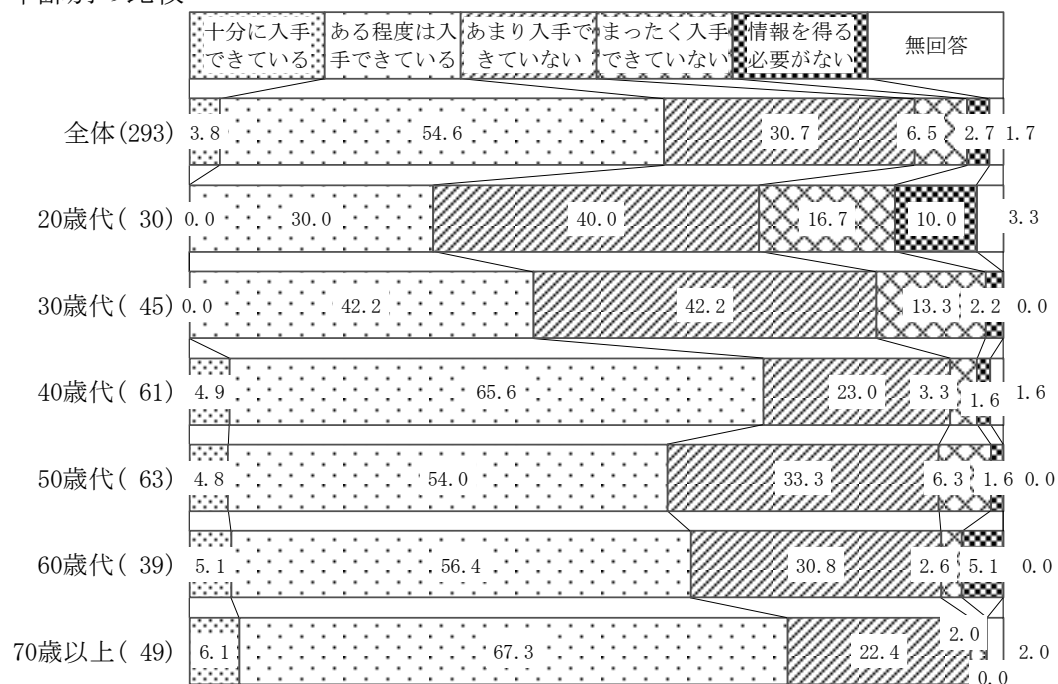
【年齢別の比較】

「ある程度は入手できている」と「十分に入手できている」を合わせた「入手できている(合計)」の割合が最も多いのが70歳代で73.4%となっています。一方、最も少ないのが20歳代で30.0%、次いで30歳代で42.0%となっています。



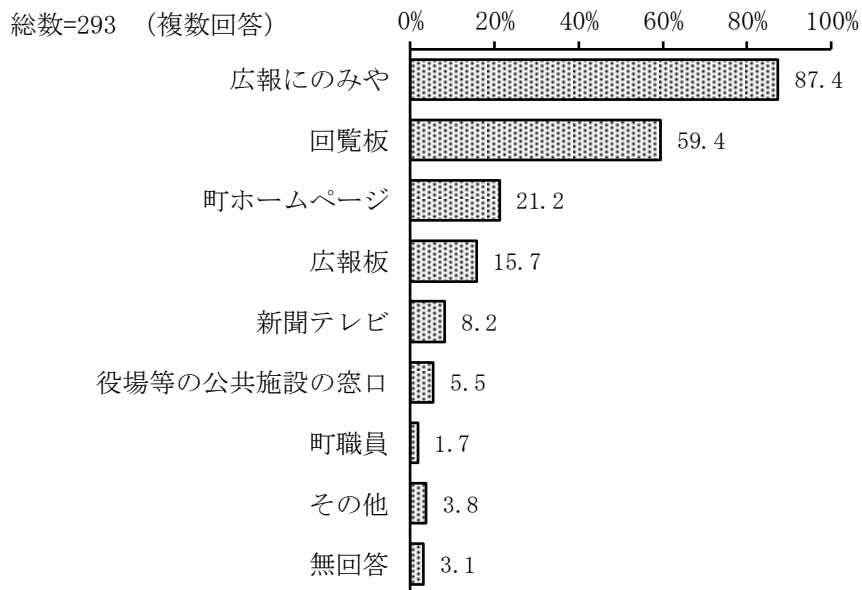
年齢別の比較

単位:%



(2) 行政に関する情報の入手手段

「広報にのみや」が最も多く全体の87.4%となっています。次いで、「回覧板」が59.4%と続いています。

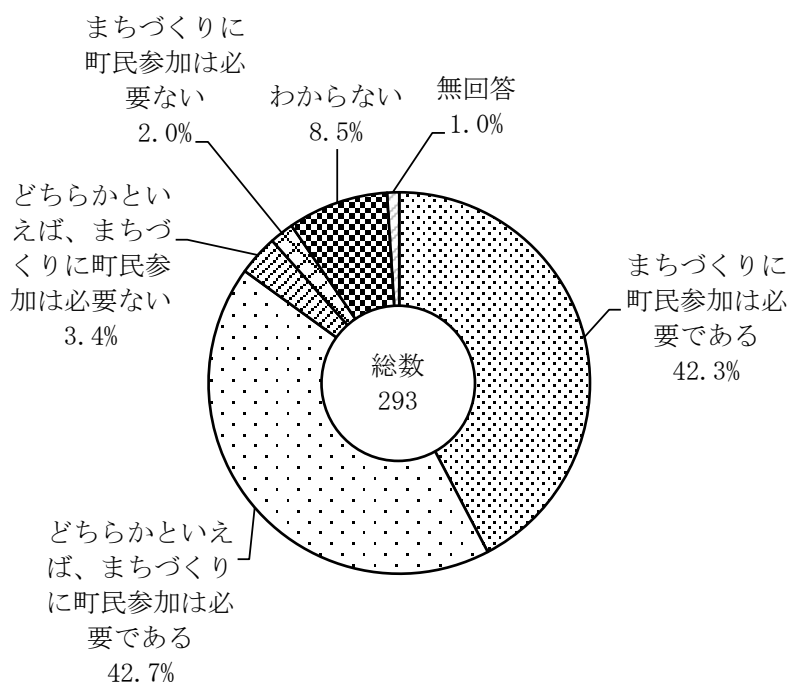


(3) まちづくりに町民参加は必要だと思うか

「まちづくりに町民参加は必要である」が最も多く、全体の42.3%となっています。「どちらかといえば、まちづくりに町民参加は必要である」と合わせた「まちづくりに町民参加は必要である (合計)」の割合は85.0%となっています。

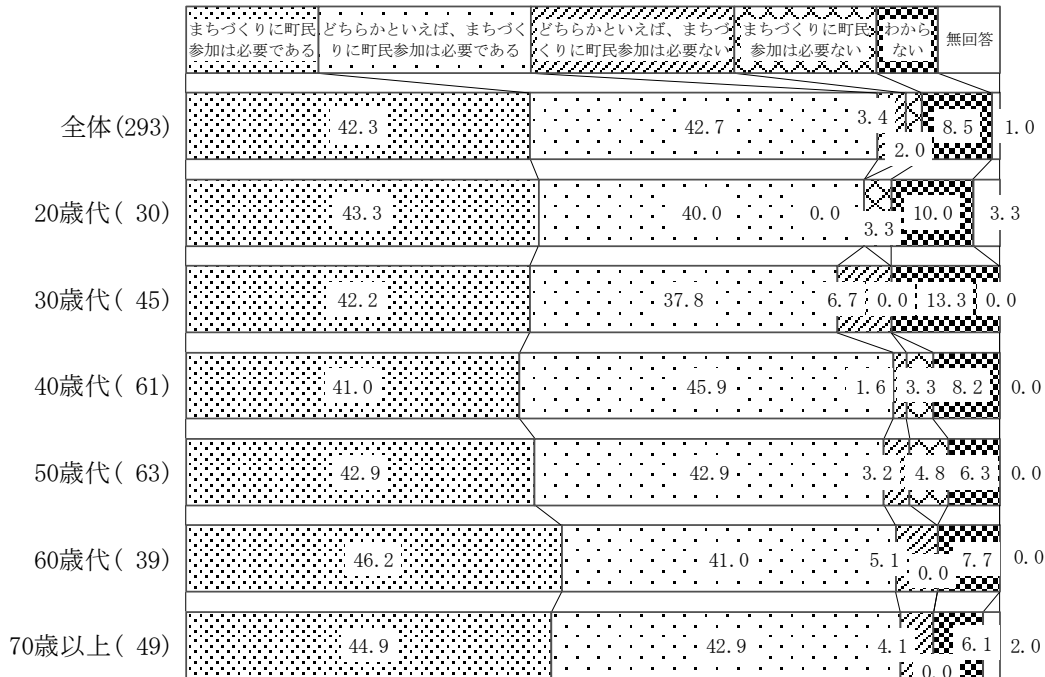
【年齢別の比較】

「まちづくりに町民参加は必要である」と「どちらかといえばまちづくりに町民参加は必要である」を合わせた「まちづくりに町民参加は密陽である (合計)」の割合は、どの年代も8割以上となっています。



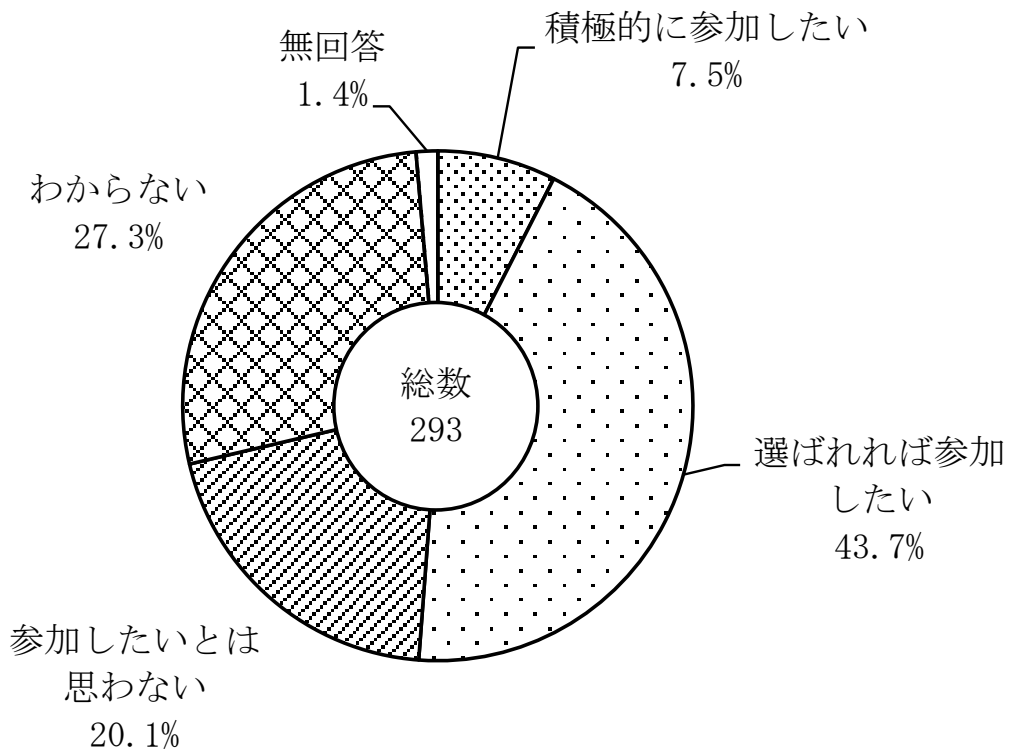
年齢別の比較

単位:%



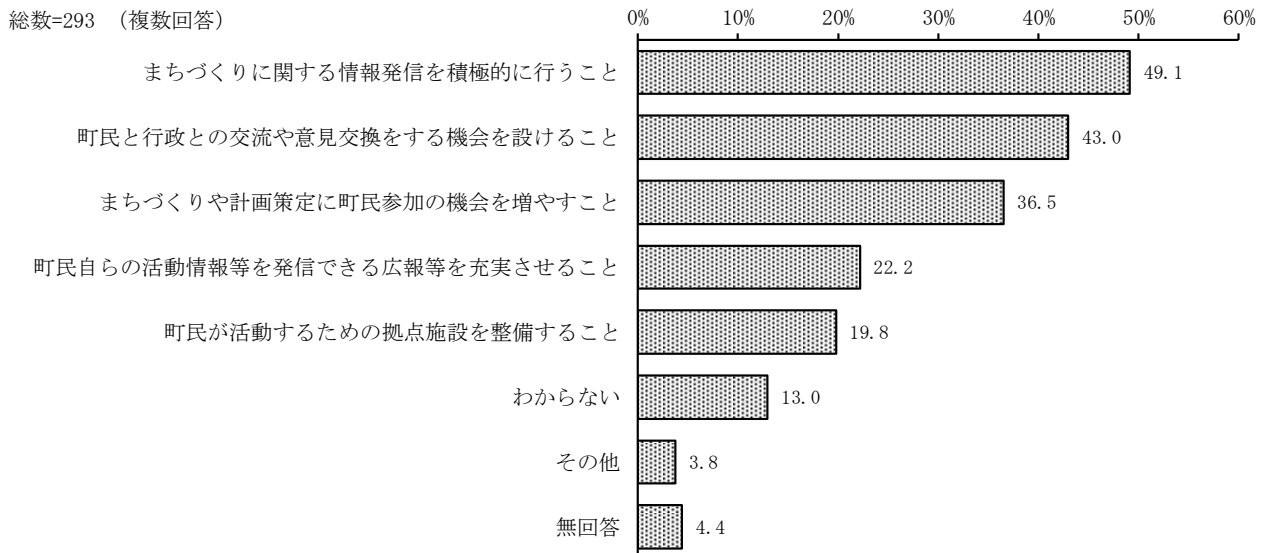
(4) まちづくりへの参加 (参画) について

「選ばれれば参加したい」が最も多く、全体の43.7%となっています。「積極的に参加したい」と合わせた「参加したい (合計)」の割合は、51.2%となります。一方、「参加したいとは思わない」と答えた人の割合は全体の20.1%、「わからない」と答えた人の割合は全体の27.3%となっています。



(5) 町民と行政が協働でまちづくりを行う上で、必要だと思われること

「まちづくりに関する情報発信を積極的に行うこと」が49.1%で最も多く、「町民と行政との交流や意見交換をする機会を設けること」が43.0%、「まちづくりや計画策定に町民参加の機会を増やすこと」が36.5%で続きます。



4 自由意見一覧

4-1 自由意見一覧

昔ながらの景観を守ってほしい。過度な開発は要らない。道路の強度が気になります（トラックが通ると家の揺れが酷い）。細い道、古い道は大型車両を規制してほしい。適切かどうかを照らし合わせるあまり古い物の排除を進めないでほしい（良きもの、風習は残してほしい）。
駅前（北口）の公民館（体育館）の後釜となる施設？皆さん楽しく使っておられます。
・病児保育の充実を望みます。・空き家バンクのHPに情報が少ない。空き家の貸し出しや活用（例えばサロン）が必要。
・北口駅前の整備に不満である。昔の北口駅前がよかった。車を駅近くに停められないのは足が悪い人間にとって不便だ。・障害者の福祉医療証は便利である。これからも続けてほしい。・障害者のタクシー利用料金助成券を去年度の金額に戻してほしい。
町民以外からは吾妻山入山費を頂いては？
町民プールが毎日の水泳教室のため、泳げるレーンがないので改善してほしい。設備も老朽化している。
毎日殆ど使用されることのない町民運動場を、300円支払って3回ほど借りました。平日続けて利用したいのですが、毎回300円は痛いです。平日のみ利用可の回数券があれば有難いです。また年間パスポートなどあればなあと思っています。
私は今現在健康なので、手助けを必要としている、例えば、家事手伝い、買物、食事作り等々、ヘルパーさんでなくても手伝えるような（有料）、仕事としてハローワークへ行かなくても見つけられるような窓口があれば良いと思います（もしかしてあるのかも？私が知らないだけ？）。シルバー人材の仕事内容や、その他の情報がもう少し手軽に分かれれば、自分も参加できるのと思う！！
二見利節のカレンダーを毎年楽しみに利用していた。今年は何故つくらない（来年2018年度）のか？今年売れ残っているからということだが、以前はラディアンでも駅前の本屋（今もう無い）でも入手できた。記念館のみで販売しているのでは売れ残るのは当然だ。とても良いものであり、二宮町の宝でもある。二見の絵画を知らしめるためにもラディアンやコンビニにも置いてもらっていくらでも利益を上げ、記念館の維持費に充てるとか積極的に考えてもらいたい。
二宮町の美しい自然と環境の良さと、駅前開発の可能性に期待を持って引っ越して参りました。ところが住宅地の同じ並びに霊園が建設され、民家の直ぐ隣にお墓が建つ、雑然とした街並みになってしまいました。当然「駐車場」と話しに聞いていたので、このような理にかなわないことが通るはずがないと思っておりましたが、現状に至り大変残念であり、失望致しました。二宮町民の立場に立った、二宮政策総務部であってほしいと願います。
駅が全く寂れています。商店街も全く駄目です。面白みの無い町です。
子育てが終わると関わりのあるものがなくなり、高齢者になるまで、あまり町の参加行事等に参加させてもらえない。仲の良い者同士で活動していて、普段仕事で留守にする事があるものには、連絡すらこない。自分、妻が子育てしていたときはあまり対応してくれなかったが、今さら子育ての人達の事ばかり言われると腹が立つ。
病院・・・皮膚科、婦人科があると嬉しい。二宮では子供産めない・・・（施設がない）。
本庁舎を中里の東大果樹園跡地へ移してはどうでしょうか？広大な土地なので駅前会館も全て一箇所にとまとめた方がよいと思う。そして今の本庁舎は商業施設となれば駅前が活性化すると考えます。
少子高齢化対策をどのようにしていくのか、ビジョンが見えない。他市町との合併等しなくても豊

<p>かな生活は送れるはずですが、町民負担させない施策を望みます。</p>
<p>にのみやトークカフェに参加したい（興味はある）。何のアイデアもないので行けないと思っている。町の人が優しく自然が多く、のんびりしている二宮町が好きです。一方で商店街にシャッターのお店が多かったり残念で、何とかしてほしいところもあります。今の雰囲気そのままに、町の活気が増えるように期待します。二宮には二宮町が好きだと思ふ人が多いので、きっとよくなっていくだろうと思っています。</p>
<p>「地域活動」や「協働のまちづくり」の重要性が理解できません。まちづくりは町と協議会でしっかりやって頂ければと思います。</p>
<p>J R東日本の大磯、二宮、鴨宮 3 駅の快速通過を改善することによって利便性が向上する。北口駅前周辺の区画整備を実施して、整然とした駅前周辺の環境整備をしてほしい。</p>
<p>・駅前周辺に食事やお茶をする場所が少ないと思う。せっかく観光客が来ても何もなくて、がっかりしそう。商店街がシャッター通りになってしまったくない。せめてチェーンのコーヒーショップなどあれば良いと思う。町内に書店が無くなったことがとても残念です。海岸エリアに公園がない。町民運動場があるのに自由に使えない（夕方までは子供が遊べるなどできたら良かった）。</p>
<p>駅前整備を中心にコンパクトまちづくり計画を立てて実行すること。就業、就学の機会が町外に依存していることを前提に、住みよいまちづくりや職住分離、学住分離に対応した交通システム（バスや電車の利用）、整備していくこと。新鮮な農産物、水産物をもっと地元に戻元できるような仕組みを支援してほしい。また近隣の市町村と連携して、地産地消型の流通システムを整備していただきたい。先ず何よりも駅前再開発に取り組んでいただきたい。</p>
<p>入院できる医療機関が一つもないのは不安だ。公共施設が貧弱、分散するのではなくまとめてはどうか。駅前が駐車場化している、何とかならないか……。大磯・平塚との合併がないのか……。</p>
<p>二宮町は山、海、西湘、小田原、東名の道路に接していて恵まれている。その土地条件の中、もっと色々な考え方で町の発展、観光、販売に繋がっていくと思う。財政が厳しいのなら、考え方を考えていくしかないと思う。</p>
<p>駅南口の活性化。よさこいに代わる町民参加の祭り。10月の祭り、正月等、川勾神社をもっと盛り上げて欲しい。花火大会の復活。二宮交差点の渋滞の緩和。</p>
<p>朝、駅（北口）のロータリーを横切る自転車が本当に危ない。どうかしてほしいです。</p>
<p>まちづくりに町民が参加するのは良いですが、必要以上の交流が強いられることが多々あると思います。そういうところから見直し、お金の使い方も考えていけば参加する人も増えてくると思います。消防団・商工会など。ボランティア参加含め。</p>
<p>産業の振興、商業サービス etc の充実は大事な事だと思いますが、直ぐにと数年で解決できる問題とは思えません。二宮町は小さな町だけど、街並みが美しい、海が近い、山もある。緑も多い、気候が温暖で“住みやすい”はもちろんのこと、“住みたい町”と思われるような町になってほしいです。駅前開発を希望します。休みの日はよいですが、仕事帰りに買物できる店がありません。そのあたりの不便さも解消して頂きたいです。</p>
<p>コミュニティバスですが、今の所私も主人も1回しか乗車していません。何故か？それはバスに乗って出掛けたいベストな時間に運行していないからです。朝、昼、夕方になりませんか？朝は通勤の方々、買物へ早くに出ることがあります（6：00～8：00 台）。昼は朝に買物に出掛けた人達が、帰りの乗り（11：00～14：00）。夕方の便は出来たら（学生の帰りや昼から出掛けた人達の帰り）でかまいません（17:00 以降）。4歳の娘も乗りたいと言っていますが幼稚園に通っており、土日なら乗れるのにとても残念です。乗車率も上がらず、またすぐに無くなってしまおうのでは？その前に時</p>

<p>間の変更をしてみると全く、かわってくる気がします。ある意味（6:00～8:00 台）だけ走らせるのも手ではないかと？若手は通勤、年配の方たちも皆早起きで、出掛けていきます。で、昼と夕方に1便ずつなど。どうか見直しをお願いします。</p>
<p>買物に不便さを感じる。</p>
<p>・設問の具体性が欠けていて、対応できない。例えば設問1「それぞれの役割分担・・・」答えようがありません。・不消化な言葉を使って無責任な設問が多い。例えば、1、福祉協と行政と立場の違いが？/33、“交流ゾーン？”/45、“消費者被害？”・質の異なる内容を一緒にしている。33、“自然保護”と“花一杯” 50、“農地保全”と“町民の余暇利用” ◎総じてもう少し町民の立場からの設問に下さい。</p>
<p>二宮町は落ち着いていて好きですが、正規で仕事をしている人や子供を育てるには、住みやすいとは言えにくいと感じます。</p>
<p>地域の活動に高齢者が中心になっている印象があります。若い世代の移住を推進し、活気ある町へと変えていく必要があると思います。若い世代が参加しやすい地域活動の工夫、子ども達を主体とした町づくり、優しいまちづくりが大切だと思います。村田町長になり、かなりその点が改善されたと思いますが。地域には子供の環境のために、地域に貢献する活動を行っている人が何人もいます。そのような方達が活かされる行政を行ってほしいと思います。</p>
<p>町内のバス便に不満があります。吾妻山と JR の間の道を走るバスの便がないこと（車は多く、坂も多く、夜間の人通りも少なく、防犯の点からも必要だと思います）。本数が極端に少なく、利用したい時間帯には全く便がありません。利用を増やすと言っていますが、乗れないものは乗れません。他のルートについても同様です。二宮の暮らしにくさを現していると思います。</p>
<p>とにかく障害者に対して優しくない町だと思う。障害を持った者が楽しみにしていた旅行（バス旅行）もなくなり、駅前は無駄に整備されている状態。今後は障害を持った人が益々増える時代。この二宮ブランドの価値は、今のままではないと思う。環境も障がい者の視点を取り入れるべき。</p>
<p>夫婦2人だけの生活ですが、現状はほぼ満足しています。しかし更に住みやすい二宮町になればと思っています。町の取組の現状を十分に分かっていないので、自分の感覚で回答させていただきました。</p>
<p>高齢者増加により駅前（北口）商店街の道路整備が必要。自転車・通行する人のための（グリーンベルトではない）、ガードレール等完全一歩化。自転車の通行時危険が多いため。</p>
<p>老人一人暮らしになった後の色々な処理をお願いできる部署が町にあるのでしょうか？老人一人になっても安心して住める町を希望します。</p>
<p>町内の移動手段の充実を願っています。バスの運行が少ないと感じます。現在車の運転ができますが、今後（数十年先）の事を考えると不安です。乗合タクシーの利用等、気軽に（運行時刻を気にせず）使えるサービスを検討していただけると嬉しいです。</p>
<p>袖ヶ浦プールを復活してください。またそれに伴い周りを整備し、多くの集客が出来るようにして下さい。吾妻山をもっと利用して下さい。菜の花の時期にはもっと外貨を獲得できるイベント等行い、町民に還元していただきたいです。</p>
<p>人口ばかり増やしてもその後について役場は何もしてくれない。ゴミは特に酷い。案を出しても全部駄目。地域の人とやって下さいとか言って、ゴミ置場が横だと知らずに引っ越してきてカラスがゴミを散らかし、庭や家の前の道路に散らかって臭いも凄いのに・・・。前住んでいた所はそんなことはなかった。ゴミの相談で役場へ行って思ったのは、「あ～この町駄目だ」と思いました。二宮町に期待も希望もありません。こんな町に引っ越してくるんじゃない。アンケートとか出す時間があるのなら自分達で考えたらいい。もう送ってくるな。地が弱いらしくダンプなどがくると家は揺れるし、夜も眠れない。良くこんな土地が売りに出ているものだ。</p>

<p>・海岸の砂浜の再生。・葛川沿いの整備、サイクリングロードの整備。・町営の二宮温泉の建設。</p>
<p>・使われていない土地を使って、大きな公園などつくってほしい。・空き家となっている家が多い印象です。再利用して子供の遊び場のような所を造ってほしい。</p>
<p>富士見ヶ丘、石神台間のトンネル、大磯側は補修工事がされているが、二宮側はされていない。地震等が起きたとき大丈夫なのか？</p>
<p>本調査票が町長名で来ることに若干の違和感があります。そもそも町長が交代しても永続的にまちづくりがなされるべきでは？町職員の方が多忙とは思いますが、第一線で考えて欲しいのです。</p>
<p>道路の街灯が少なく危険。皮膚科の病院がなく不便。バスの本数が少なすぎる。公園を充実させてほしい。</p>
<p>・町役場の場所、急坂や階段を上り下りしなくて済む所へ移転してほしい。・駅前ロータリー、道路が狭すぎる。</p>
<p>南口駅前が店が閉店し、駐車場だらけになってしまい、活気が感じられない。現在やっているお店も時間の問題だと思えて仕方ありません。活気を取り戻すためにも町で何か手助けできないものでしょうか？遠方から遊びに来た友人もビックリしています。</p>
<p>書店が無くなって寂しいので、図書館の分館のようなものがあれば、ラディアンまで行かなくても本が見れて有難い。</p>
<p>現在、2歳児を育てている環境は満足しています（小田原市の保育園、病後児保育等利用）。共働きなので地域活動の参加はできませんが、お年寄りが健康維持しながら子供の見守りなどあったら良いなと思っています。</p>
<p>・高齢者、子育てについてのサービスはあるが、頑張って税金を納付して勤労している世代（子供がいない）にも、たまにはサービスをしてほしい（地域で使える食事券など）。・高齢者の危険運転が多く、危ない思いをすることが多いので、町でもっと高齢者運転者向けの講習や対策をし、若者にも住みやすい町にしてほしい。</p>
<p>療育の充実・公園の充実・弱者に対する支援→本当に必要なところにお金を使ってほしい。苦しんでいる人はいます。財政を理由に諦めるのはやめてほしい。キチンと税金を納めているのだから。</p>
<p>二宮町に移り住んでから少しして、不妊治療を続けてきて、ようやく授かることが出来た。かなり費用がかかったが、神奈川県の不妊治療費の助成金を申請した。その時知ったが、二宮町には上乘せ助成が受けられないことには驚いた。大磯町や中井町、清川村でも助成が受けられるのに。とても失望したので、この町を去ることに決めた。この町に住んで損をした。</p>
<p>コミュニティバスがありますが、いつ見ても人が乗っていなくて空で走っています！！1日2~3本ばかり通すのなら普通に走っている神奈川中バスを後期高齢者はタダにするとか、どこからどこまで乗っても100円にするとか、ナカチャン手形は1年分で1万近く支払っているのに、それを無くして申告した証明書があれば全員使えるという横浜市のようなシステムが欲しいです。</p>
<p>行政の活動が町民には見えづらい。</p>
<p>二宮町は素晴らしい人と環境に恵まれていると思っています。このアンケートがよりよいまちづくりに活かされますように。町長始め、二宮町政策総務部企画政策課企画調査班の皆様、町の為に頑張って下さりありがとうございます。</p>
<p>文句①町の行政行為に関し、外注先と町の馴れ合いを断ち、発注に対して必ず外注先のパフォーマンスを評価できるように発注仕様を明確化すること。このためには、このアウトプットで何をなしえるのか、明確化が要求される。それは町民にも成果が見えるものでなければならない。つまり費用対効果が不明では町費の無駄使い。(例) 町から社協への外注の仕方、成果の取り扱い方。②地域包括支援</p>

センターの活動の改革、住民参加退職後の人材、無職の町各一人一人に町政参加義務振り当てる義務化を行う。但しメニューは町が設定し住民一人一人がその参加項目を決定し参画する仕掛け作り。
自然が良い町なので、このまま発展して行ってほしいです。
山、海共に近くて暖かくて暮らしやすい良い町です。特色が無くても良いと思います。「大いなる平凡こそ素晴らしきかな」です。ただご近所見渡す限り高齢者が多いので、この先10年でどうなってしまうのか心配です。
・暮らしに必要な企業誘致や増収のため、商業特区などしてほしい。・東大跡地の草刈り作業中、道路を歩いていると顔に石とか当たって迷惑しています。何とかして下さい。
タクシー乗降場所から駅エレベーターまで屋根がほしいです。雨の時、車イスや杖が必要な高齢者はびしょ濡れです。
二宮に越してきてから1年経過しました。この間ご近所から、また班長さんからも一度として「住み心地は如何ですか、ご不便はありませんか？」etcと聞いて下さる方は一人もいませんでした。回覧板に書いてある情報の意味、コミセンが近くのコミュニティセンターで防災の拠点であると知るまで、時間がかかるよう、住民間交流がないこの町に残念な思いです。日々の情報は役場では得られず、主に町の観光協会、新聞勧誘の方からのみでした。移住者にコンサルタント的な要素は、皆無です。残念です。
電柱の地中化を実現してほしい。
二宮中学校に子供を通わせている保護者です。二宮中学校の教職員の中に疑問を感じる方が数名いらっしゃいます。子供への教育不信は町全体への不信にもつながります。難しい年頃の子どもを持つ親として、安心して暮らせる学校生活を望みます。
これまで経験した中で、町職員の町民への奉仕する精神がほとんど感じられない。また既存業務に対する要望を行っても、主体性を持った対応が全くない。まちづくりにあたっては、町議員の意識改革が不可欠であり、やる気と能力のない人は辞めてもらいたい。お金が無い町が生きて行くためには知恵を絞る必要がある。
町内会活動において、若者の意見が長老達の偏見で潰される傾向があり、発言しにくい。
地区の活動も盛んで、自然豊かで温かい町だと思いついてきました。中学生まで医療費を助成していただける事や、子育てしやすい環境（サロン、市民講座等）が充実してきていると感じます。ただ力を入れていただきたいのが、小中学校の環境の充実です。二宮小の体育館は老朽化が進んでいます。二宮中はハッキリ言って、教職員の資質が低下していると思う。生徒に暴言を吐く教員、一日中タブレットばかり触って生徒の目を見て向き合わない先生がいます。現場に自分の子供を連れてきて、生徒に椅子を用意させた先生もいます。一般企業では考えられないことです。通っている生徒は礼儀正しく良い子がいると感じていますが、先生方はどんな先生を配置しているのでしょうか？近年、クラスも減少にあるのは少子化の影響ではなく、とても評判が悪いから、町外を受験させる親が増えてきているから。実際、我が子を入学させてから落胆させられたことが多く、不安ばかりです。そう思っている親は私ばかりではありません。学習塾ばかり充実しています。中学校の教育の質の向上を強く望みます。
・コミュニティバスの本数を増やしてもらえれば、もっと町の活性化に役立つと思います。・二宮町の商店街はおもてなしに欠けている。もっと考えた方がよい。・道路標識に目的地までの距離数を入れて欲しい（例えば；ここから駅まで（歩いて）何kmとか）。・公のトレーニングセンターを造ってもらいたいと思います。
町を走るコミュニティバスは見直した方がよい。一日数本で決まったルートのみでの運行は意味がな

<p>い。中井町オンデマンドバスを参考にして下さい。中井町のバスは利用者がとても多いです（予約制）。・二宮町全体が活性化、勤労者を増やすことで、人口も増え、雇用確保する必要がある高齢者の町になって、若者が多く働く環境整備が必要です。</p>
<p>若い人が増える取組を増やして欲しい。先細りしないまちづくりのためには、若い住民の確保が重要だと思う。</p>
<p>・新しく加わった施設である、花の丘公園のフワフワドーム、お休みの日があるので、行ってから子供に泣かれることのない様にネットで調べなくてもわかるように、「広報にのみや」の「各施設の休刊日」欄に記載していただけたらと思います。・遊具が少なく子供が十分に遊べるよう、公園自体をもう少し見直して貰えたら嬉しいです。</p>
<p>大磯「滄浪閣」跡地に、明治記念大磯邸園（仮称）を設置することについて、閣議決定されたと報道がありました。もし完成したら二宮駅からもバスを出し、ハイキングコースをつくる等し、駅周辺の店舗も、観光客に使いやすい居心地の良い場所に出来たら、町の活性化に繋がると思う。</p>
<p>町会議員がもしまだボーナスを支払われているのなら、停止してほしい。ボーナスは企業が実績が上がったときに貰えるものですが、議員さんは職業も兼業できますし、財政が困難な二宮町としては、支払える余裕はないはずです。皆さんいざ議員になられると、自分の身を切ることに関しては、口にされなくなり選挙後はいつも残念な気持ちになります。</p>
<p>町立施設の改修、整備を積極的に推進してほしいと思います。</p>
<p>医療費、中三まで拡大。公園整備。</p>
<p>・項目が多い。・よく分からなかった。・アンケートを取るなら30代以上の方が良いと思った。・関わりがないことが多かったため、アンケートの参考にはならないと思った。・子供もいない祖父母の面倒も見ていない為、最初の項目は全く関係なかった（良く分からなかった）。・アンケートはもうやりたくない。</p>
<p>・2歳の子供がいるので子育てに関する事へは、積極的に情報収集しますが、それ以外のこと（障害者対策、産業のこと、高齢者関連等）分からないことが多いので、今後もHPやツイッター、広報誌等で積極的に情報を知らせていただけると有難いです。・子育て支援、対策がどんどん充実してきているのを感じます。今後お願いします。</p>
<p>税収増加、住民税と固定資産税が主な税収（財源）とすれば、生産年齢人口の増加を考えるべき。理想は高くても、実施には費用が必要。夢ではお腹が空いてしまう。</p>
<p>タウンニュースで二宮町庁舎建て替えの方針示す。個人的には賛成に同意いたします。町の財政難、そして高齢期を過ぎています私自身ですが、こえからの二宮町民やまちづくりには大きな決断であると感じました。1人1人が健康づくりや小さなボランティア（心がけ）精神で、明るいきれいな街になるのではと思います。</p>
<p>二宮町の様な田舎が観光に力を入れる必要はないと思う。それより住んでいる人が住みやすい町にしていくことが、今後の方針であるべき。教育と福祉の充実した町であれば、町民の流出は抑えられ、豊かな町に自然になっていくのではないだろうか。役場の駐車場に車が多く、止められないことが多々ある。役場を利用する人だけが駐車場を利用できるように、ラディアンの様な駐車場にしてほしい。</p>
<p>二宮町は相模湾に面し密柑山等の緑豊かな小高い丘に囲まれ、気候も温暖で大変住みやすい土地です。歳を取った最近は特にそう感じます。また、東京、横浜、鎌倉にも近く、箱根、山中湖、丹沢等の行楽地にも、手軽に行ける近さであり、立地条件にも大変恵まれています。ただ、このような条件下の地域は近隣には沢山あります。そういう地域に負けられないためにも大磯を初めとした近隣地域が進</p>

<p>めているPR活動をよく調査し、良いものは取り入れるくらいの懐の深さがあっても良いと思います。二宮町は吾妻山、ラディアン等、近隣地域にはない誇れるものを持っています。子供がいないので、二宮町の子育て支援等の詳細はわかりませんが、若い人が住みたいと思うような町づくりを行政の方は、自信を持って取り組んで下さい。</p>
<p>二宮町消滅等という話題がありました。・・・町政の頑張りに期待しています。勿論町民もですが。</p>
<p>二宮町の良いところは、朝の電車で座れる、湘南ライナーが止まる、重要道路（小田原、西湘バイパス、東名へ続く道路）がある。買い物しやすい（日用品等）。騒音問題もなく、静かに過ごせる・・・等、他の都市に負けない良いところが多数あります。仕事と生活を上手く回せる環境です。良いところをこれからも伸ばして下さい。</p>
<p>特別快速電車が停車し、通勤に利便性があるようにする。朝は必ず座れていけるので若い人が町に入ってくるようにする。土地の区割を、例えば50坪以下にして販売させないようにする（防犯、防災の観点から）。</p>
<p>・行政のスリム化に本気で取り組んでもらいたい。・二宮駅構内の敷地面積に余裕があることから、停車できるプラットホームを増設し、首都圏へ通勤する世帯の流入を促せるように、JRと真剣に協議して貰いたい。</p>
<p>古い考えのこの町に魅力を全く感じません。空き家、高齢者（車の免許返納された方）が、買物難民です。バス等無料化、交通の充実が最優先と思います。高齢化のまちですね。子ども達も大学卒業後、就職すると戻っては来ないです（アンケートが紙でくるのもどうかと思います）。</p>
<p>長寿の町として環境のアピールをして下さい。</p>
<p>若い移住者の方など（また定住されている方も）SNSなどで情報発信されているのを、頼もしく思っています。若い世代を呼び込むことも、町の力になると思いますが、今後、高齢者化率が増えていくのは、この町だけではなく全国レベルで避けられない現実です。とすれば、高齢者が行政等のお金をなるべく使わず、ギリギリまで自立できる支援にも力を入れていくべきではないかと考えます（定年後二宮町で就労し税金を払って行けることが出来るといいなと思っています）。</p>
<p>・箱物や公園整備に重きをおくべきではない。・社会保障という生きるために不可欠な分野に支出をなすべき。二宮町の各種保険料の高騰ぶりは町民の負担軽視、生計逼迫、小田原市との合併も視野に入れるべきではないか？高齢化が進むばかりで、労働力人口の増加が望めない小自治体では、益々生活に余裕が持てない町民が増すばかり。保険料振込用紙を見る度に、嘆息する。以前、「湘南市」構想があったがあれほどの広域では、「合併、相模原市における旧・津久井郡地域」のように見捨てられる。生活面は平塚でなく、小田原と同一。・質問文に「誇りを持てる・・・」とあるが、公的機関が町民個々の内心に踏み込む表現をすべきでない。このようなタイミングは、差出人には図りかねる。消印のない郵便物であっても「消印相当」とてもすべきでは？</p>
<p>二宮は平和で人が優しく住みやすい町だと思います。今でも十分に良い町なので、維持していただけることを望みます。子供はのびのびとしているし、お年寄りも元気。皆が安全に暮らせるのが願いです。駅の北側は人と車、自転車が行き交い危険で怖いです。</p>
<p>各地区長に連絡し、協力を仰ぐだけで、町として下流（町民）に業務を押しつけている。地区の大きさや人口・所帯等が昔と比べて大きく変わっていることに町はどのように考え向き合っているのか？子供がいない年寄り達が多い等、その様な環境の中でいかにも色々なことをやっていると言う所が見受けられる。人口バランスを考え、基本的な部分から見直しが必要！！</p>
<p>図書館へ車で行くとイベントで駐車場がない場合が多々ある。改善を望む。</p>
<p>・二宮駅の国府津方に新しく改札を新設してほしい。・町内の全ての信号機をLED化する（西日で</p>

<p>電球だと色の区別が分からず、事故を起こす)。・梅沢中央子ども広場上の路線橋に自転車やベビーカーが渡れるように道路を整備。</p>
<p>駅前を整備を望む。スーパー、本屋、ドラックストアなど駅前にあつたらいいなと思うものが二宮駅の周りはない。バスを待つ間に買い物したくても出来ない。駅近くに小学校はいらない。二宮小学校をショッピングセンターと駐車場にしてほしい。</p>
<p>人気アニメ「アイドルマスター」の舞台に選ばれたとき、何もアップしなかった時には二宮町はバカだと思った。今時、時代遅れであり二宮のアホさを象徴しているかのように思えた。今後、二度と無いかも知れないチャンスを無にしたのは、クズとしか言いようがない。それと図書館にウォシュレットがないのは愚の骨頂。アホなイベントをする前に、こういう部分を充実させるべきだろう。</p>
<p>・葛川沿いの土手を、ウォーキング、ジョギング、散歩ができる様に、中井、大磯町と連携して整備する。また、川への親水階段をつくり、川辺で遊べる場所づくり（大磯ロングビーチ前の川辺）。・各種スポーツ、文化等で県、全国規模の大会入賞者の連絡網を密にして、行政より積極的に表彰する。※二宮町は他の市町村より非常に遅れている。町の施設でもアンケート調査がありますが、その結果を公表して下さい（アンケートに対して対応の仕方も）。</p>
<p>多様化しているニーズに対応するためか、八方美人的な事業をしている様に見える。財政困難な時期であることを町民は知っています。きちんと事業評価して無駄がないようにして欲しい。アルバイトやボランティアに頼っている事業は中味がない。誰が事業評価しているのか、現場を知らない職員が行っているのではないか？費用対効果を考えて欲しい。事業減少があっても良いのでは？</p>
<p>二宮ブランドの振興にもっと力を入れるべきだと思う。町長が変わって以来、活動に進展が見られないと感じる。特にオリーブ栽培については、他の地域との競合もあると思うが、町の未来を考えていく上で最も力を入れていくべき分野の一つだと思う。専門家を加えながら、商品化、情報発信を積極的にして欲しい。</p>
<p>・吾妻山に来た観光客が寄れる土産屋（二宮町物産品を駅に置く）や、飲食店をもっと充実させて、また来たいと思われるように、散歩コースも昭和の良さを活かしたものを提案し、景観の整備をもっとするといいと思います（記念館のPRも弱い）。・つるし雛づくりをふるさとの家で開催したりなど、観光客向けに如何ですか？・わくわく広場にある農作物が安くて美味しいのに観光客に余り知られていないように思います。雑誌やTVで紹介してもらえると頑張ると良いと思います（販売場所をどうにかする）。・子供の健康な心を育てるためにお年寄りとの交流を増やす機会が必要だと思います。・心がホッとする町二宮を目指す住民も満足し、都会からの観光客も増え増税になると思います。</p>
<p>・インフルエンザワクチンの補助を子ども達にしてほしいです。・近隣の市町村の中学校で、給食がある所は少ないので、二宮町は中学校でも給食がある事をアピールしても良いと思います。</p>
<p>今回のアンケートは重要性和満足度と項目が多く、細かくてとても疲れてしまった。以前もこのようなアンケートに選ばれて、結構忙しい時期なので回答はとてもしんどいです。子供のみで遊べるスペースや催しがあると良い。子が小学生になり毎日宿題 etc の付き合い中での、この内容は多すぎて疲れてしまった。</p>
<p>今、組長や子供会の役員など、無給なのに半ば強制的にやらなければならない仕事があります。専業主婦が多かった時代と違って、今は殆ど共働きの世帯となり、なかでもその仕事は母親が負担することが多いように、未だに子育ての中心は母親・・・その仕事のせいで自分の子供に向き合う時間が減ったり、金銭的に負担もあり、かなり苦しめられています→その上、このアンケートに時間が・・・このままでは家庭や自分自身が壊れそうです。これからはもっとそういう人が増えて・・・全体的に</p>

人手不足と言うこともあり・・・時代に合わない物は変えていってほしいです。
災害時などのボランティア活動などは必要なものと考えますが、常時組織立てて町政に組み込まれる形での活動は多分に無理があるように思う。その活動に人力が必要であるなら、無償のボランティア活動に頼っているのでは、成り立たないのではないかと思う。参加する人には何らかのメリットや、見合った対価が必要なのではないかと思う。
アイデア募集などされては如何でしょうか？（テーマを決めて）。アナログですが、書いて入れられるような BOX を役場やラディアン等に置いてみるなど如何でしょう。ネットより書く方が意見に責任を持って、又高齢者の方も参加しやすいと思います。
保育園について・・・入園できる優先順位が不明瞭、本当に必要としている人から優先的に入園させてあげてほしい。・先生の負担等も考慮して、労働時間が短い人は 16 時迎えに決めてほしい。・兄弟で違う保育園に通わざるを得ない家庭もあるとのことだが、せめて運動会等の日程はずらしてあげる配慮がほしいと思う。「梅花保育園について」→入園が決まってから説明会で「1 歳未満の子は 5 時までの預かりです。」と説明があり、毎年困っている人がいるので、入園前に伝えた方がよいと思う。
・駅北口から山西方面への道は、夜暗くてとても女性が歩ける道ではないので対策していただきたい→住む人が増える。・中学校まで給食があることをもっと PR した方がよい→子育て世代が増える。・財政は健全であるべき。・山西方面は大きな公園が必要。
空き家活用①程度の良い空き家をリフォームして町内の子供が自由に遊べる空間づくり等（不要な本やオモチャを貰い受け活用）。②西湘 BP や小田原の利便性を活用し、中高年の二輪によるツーリングの起点（中継地）として活用（東京方面から伊豆、箱根に向かう人のために）。・保育（病児、病後児）、子育て支援の充実。若い世代の転入、流出防止等。・吾妻山のイベントと大々的にしたらどうか？屋台、歩行者天国、夜間の入山等。
栄通り子育てサロンの杉山先生が退職されたことはとても残念です（10/25 が最終出勤でした）。・子供の月齢に合わせた関わりや遊び方を教えてくれる。・子供の成長やささいなことを喜んでくれる。・心配事や困り事もとても丁寧に聞いて下さり、経験を交えたアドバイスや励ましをしてくれる。新米ママにとってとても頼りになる先生でした。サロン利用者として子育て環境の頼りになる方がいなくなってしまうと思っています。
地域活動に若い人が参加出来る様に、意見を出せる様に情報インフラを整備活用する必要を強く感じます。活動の中心を年配者が占め多様性を無視した決定を感じる。参加、意見を求められるが、結果、年配者でいつの間にか決めている。本気で門戸を開き働きかけなければ、忙しく精一杯な世代の参画は望めない。
町民満足度調査はとても良い取組みだと思うので、今後も定期的に続けて頂きたい。ただ、評価項目に対する「主な取組み」が少し分かりづらく、具体的に何をしているのかが想像できず、評価に困る取組みがある。今後具体例を示して頂ければと思います。
老後の為に、町民が優先的に入れる老人ホームの充実があれば、安心して老後まで住み続けられる。ぜひとも、検討をお願いします。

5 資料編

5-1 調査票

本調査で使用した調査票を次頁以降に掲載します。

二宮町のまちづくりについてご意見をお聞かせください。

町民満足度調査ご協力のお願い

「第5次二宮町総合計画後期基本計画」策定に係る調査

皆さまにおかれましては、日頃から町政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

二宮町では、現在のまちづくりの指針である「第5次二宮町総合計画中期基本計画」が平成30年度で終了することに伴い、新たに31年度を初年度とする後期基本計画の策定に向け、準備を進めています。

そこで、これまでの町の取り組みに対する町民の皆さまの評価を把握し、今後のまちづくりの方向を定めるための資料とするため、町民満足度調査を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年12月6日

二宮町長 村田 邦子

対象者

- この調査の対象者は、平成29年10月2日現在の住民基本台帳から20歳以上の町民の方1,000名を無作為に選ばせていただきました。

無記名です

- ご回答いただいた内容は統計的に処理し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ありません（お名前をご記入いただく必要はありません）。

調査のご回答について

- 調査票への記入が終わりましたら同封の返信用封筒に入れ、**平成29年12月20日（水）までに郵便ポストにご投函**ください（切手は不要です）。

● お問い合わせ・ご質問について

- 本調査の趣旨、質問の内容、回答方法等について疑問な点がございましたら、お手数ですが次の連絡先までお問い合わせください。

二宮町政策総務部企画政策課企画調整班

電話：0463-71-3311（内線357）

Eメール：kikaku@town.ninomiya.kanagawa.jp

1. 二宮町の町政運営に関して、あなたのお考えをお聞かせください。

記入方法

- 「第5次二宮町総合計画中期基本計画（平成28年度～30年度）」の分野別方針の施策に対する「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えをお聞かせください。
- 回答は直接調査票にご記入ください。記入方法は下記の「記入例」をご参照ください。

記入例

- A満足度、B重要度のそれぞれの選択肢からそれぞれ1つ選んで○を付けてください。
- 施策のうち、あなたと全く関わりがないと思われる項目については、「全く関わりがない」にのみ○を付けてください。

分野別方針	施策	A 満足度					B 重要度					全く関わりがない	主な取り組み
		満足	やや満足 どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要 どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	重要ではない			
1 福祉・健康	1 二宮町社会福祉協議会との協力・連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	行政と二宮町社会福祉協議会が協力・連携することにより、それぞれの役割分担のもと、サービスの充実を図ります。
	2 相談・情報提供の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	社会福祉に関する相談や、利用できる情報等について、分かりやすい情報提供を行います。

分野別方針	施策	A 満足度					B 重要度					全く関わりがない	主な取り組み
		満足	やや満足 どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要 どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	重要ではない			
1 福祉・健康・保健	1 二宮町社会福祉協議会との協力・連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	行政と二宮町社会福祉協議会が協力・連携することにより、それぞれの役割分担のもと、サービスの充実を図ります。
	2 相談・情報提供の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	社会福祉に関する相談や、利用できる情報等について、分かりやすい情報提供を行います。
	3 地域福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域福祉計画を策定し、地域福祉の充実に向けて支援を行います。
	4 地域包括ケアシステムの構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域包括支援センターの機能を強化し、認知症高齢者や在宅における医療と介護の連携、家族介護者等への支援の充実を推進します。
	5 生きがいづくりと社会参加の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	高齢者が生きがいを持って生活できるよう、生きがいづくり活動や社会活動への参加を促進します。
	6 健康づくりと介護予防の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	健康寿命を延ばす健康づくり、介護予防を推進します。
	7 充実した介護サービスの提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	介護が必要な高齢者が状況に合わせた適切なサービスが受けられるよう、介護サービスの充実を推進します。

分野別方針	施策	A 満足度					B 重要度					全く関わりがない	主な取り組み
		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない		
1 福祉・健康・保健	8 すべての人が共に生きる社会基盤づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	障がいがあっても住み慣れた地域でその人らしい生活が維持できるよう、健康づくりや地域社会の基盤づくりを促進します。
	9 その人らしい生活への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	日中の活動の場や相談支援等の日常生活におけるサポート、緊急時等の安全確保の体制づくりを推進します。
	10 療育・教育の充実、就労への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	療育・教育の充実や就労への支援により、子どもの頃から将来自立して生活し、また社会と関わって生活できるよう支援します。
	11 社会参加への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	文化・スポーツ活動への参加を促進するとともに、障がい者が社会活動に参加しやすい環境づくりを支援します。
	12 健康づくり支援の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	データヘルス計画を策定し、効果的な保健指導、健康診査等の保健サービスを推進します。また、協働による運動習慣づくりや、食生活の改善を促進します。
	13 地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域の医療機関（かかりつけ医）と連携して、一次医療の充実、二次医療機関（病院）との連携強化を図ります。
	14 母子保健の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	乳幼児健診を充実させ、健診受診率の向上を図ります。また、育児支援の体制の整備等、妊娠・出産・子育てに関する包括的な支援に取り組みます。
2 子育て・子育て、教育	15 教育・保育環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	多様化するニーズに対応するため、教育・保育環境の充実を図ります。
	16 子育て中の親への支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域で気軽に子育てに関する相談ができる子育てサロンや親育ち講座等の場づくりを子育て世代の意向を踏まえ推進します。
	17 子育てコミュニティづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	ファミリー・サポート・センターの運営やコミュニティ保育への支援を通じて、地域における子育てを支援します。
	18 学童保育所の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	留守家庭児童が放課後に安心して遊び、生活できる場所を提供し、児童の健全育成を推進します。
	19 教育内容の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、各種研修会の充実、指導法の改善に努めます。
	20 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力や個性を伸ばす教育を進めます。また、支援教育補助員の配置や外国籍児童生徒への日本語指導等を進めます。
	21 教育相談の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	学校に行けない・行かない児童生徒に対し教育相談を行い、専門職や専門機関との連携のもと、学校への復帰を支援します。
	22 安全・安心な教育施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	児童・生徒が安全に安心して教育を受けることができるよう、学校施設・設備の計画的な整備に努めます。
	23 地域と連携した教育活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域の方々や団体との連携を強化し、地域に開かれた学校づくりを推進します。

分野別方針	施策	A 満足度					B 重要度					全く関わりがない	主な取り組み
		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない		
3 生涯学習・スポーツ・歴史・文化	24 生涯学習推進の仕組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	町民が主体となった学習活動が図れるような生涯学習推進の仕組みづくりを進めます。
	25 家庭・地域の教育力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	家庭や地域の教育力向上のため、家庭・地域・学校相互の協力・連携を図り、地域での青少年健全育成を推進します。
	26 地域スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	スポーツイベントの実施を通じて、青少年と地域の交流・親睦を図ります。
	27 スポーツ活動支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	スポーツ推進委員や体育協会と協力し、スポーツ活動を活性化します。また、スポーツを通じた地域づくりを推進します。
	28 文化・芸術の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	ラディアンや図書館の機能をより充実させるとともに、町民の文化・芸術活動を奨励し、町民活動の推進と支援を行います。
	29 町の歴史文化の継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	伝統芸能、歴史文化、自然等を再発見し、町民の町への誇りと愛着を育てるため、活動団体との連携と活動の支援を行います。
4 土地利用・都市基盤	30 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	適正な土地利用の推進とともに、(仮称)二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例を制定します。また、安全・安心で快適な住環境の向上を図ります。
	31 空家を活用した定住促進のための住まいの確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	民間事業者と協力・連携し、空き家等を活用した住まいの確保とともに、住宅の増築・リフォームによる定住促進を図ります。
	32 中心市街地等の整備・誘導	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	二宮駅周辺の整備とともに、町民が誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通空間の確保を進めます。
	33 交流ゾーンの検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	町の歴史、文化、産業、自然、風景等の特徴を活かした交流ゾーンの配置について、民間活用や町民参加により検討します。
	34 二宮海岸の砂浜の再生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	国・県と連携・協力し、台風災害により失われた砂浜の再生に努めます。
	35 道路の整備と管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	道路及び橋梁に関する長寿命化計画に沿って適切な維持管理を行います。
	36 地域交通の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	誰もが移動手段を確保することができ、維持し続けることができるよう、地域公共交通計画を推進します。
	37 公共下水道の整備と管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	下水道の普及を目指し、公共下水道の整備推進及び下水道の接続促進に努めます。
	38 公園・広場の充実と適切な管理運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	公園の長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を行います。また、利用者の意向を踏まえ、公園のあり方を検討します。
39 緑地の保全と緑化の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	吾妻山周辺と自然環境保全地域等の保全のため、自然保護を奨励します。また、緑と花いっぱいのもちづくりを促進します。	

分野別方針	施策	A 満足度					B 重要度					全く関わりがない	主な取り組み
		満足	やや満足	どちらとも言えない		不満	重要	やや重要	どちらとも言えない		あまり重要ではない		
				3	4				3	4			
5 環境・防災	40 自然環境と生物多様性の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	自然環境の保全や美化の推進、里山・里地・里川・里海の保全に努めます。また、自然環境をテーマに意識啓発に努めます。
	41 循環型社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	ごみ処理広域化と3R(Reduce:発生抑制/Reuse:再使用/Recycle:再生利用)とスモールな循環、ショートな循環、スローな循環(3S)の推進と普及啓発に努めます。
	42 低炭素社会の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	公共交通等の利用促進とともに、自然エネルギーの活用等を通じ、低炭素社会の形成を図ります。また、町に合った再生可能エネルギーのあり方を検討します。
	43 消防・救急活動の充実強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	消防団と協力し、火災予防を充実します。また、消防・救急活動体制の強化を図ります。
	44 交通安全・防犯施設の充実強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	交通安全意識の向上と交通安全施設の充実、防犯意識の啓発と防犯関連設備の充実を図ります。
	45 消費生活	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	消費生活全般に関する情報提供や正しい知識の普及、消費者団体の支援育成により、消費者被害の未然防止に努めます。
	46 地域の安全力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域の安全力向上のため、自治会等で行われている取り組みの事例紹介や相談体制の充実により地域活動を支援します。
	47 自助活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	木造建築物の耐震改修の推進とともに、台風や地震等の災害への準備促進等、町民の防災対策を支援します。
	48 共助活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域の防災活動や自主防災組織の技術支援とともに、防災活動団体間の連携支援を行います。さらに地域との協働による災害対応の仕組みづくりとその充実を図ります。
49 公助活動と危機管理体制の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	公共施設の耐震化の促進や防災関連施設の整備充実等により、災害に強い町の基盤づくりとともに、災害時の自治体としての業務継続体制の強化を検討します。	
6 産業・経済	50 農林業振興の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	新規参入を増やし、農地の有効利用や担い手育成等の支援に加え、農地の荒廃地化防止や遊休農地の解消を図ります。また、町民の余暇利用による農地保全を進めます。
	51 水産振興の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	都市近郊の立地と海の資源を活用し、水産振興を図ります。また、水産業の環境保持と海岸環境の整備と保全を図ります。
	52 特産品の普及と二宮ブランドとの連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地場の特産品づくりと商品化を奨励し、町民や民間事業者等と連携して販路開拓を支援します。
	53 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	町内中小企業の健全な育成と発展に向けて、費用対効果を勘案した支援を行うことにより、商工業の振興を図ります。
	54 中小企業への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	町内中小企業の振興と経営の安定のため、融資制度の活用により、中小企業支援を図ります。
	55 起業支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	商工会と連携して、事業者や町民等による起業を支援します。

分野別方針	施策	A 満足度					B 重要度					全く関わりがない	主な取り組み
		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない		
6 産業・経済	56 勤労者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	勤労者の福利厚生への充実を図ります。
	57 二宮ブランドの普及・促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	商工会と事業者の連携により、二宮ブランドの認知度を向上させるとともに、販売を促進します。
	58 観光情報の発信の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	吾妻山公園の早咲きの菜の花や、歴史・文化、自然、風景といった観光資源の情報の充実やPR活動を推進します。
7 自治体経営	59 広報・広聴の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	町の取り組み等の広報活動の充実を図ります。また、町民の相談窓口の一元化とともに、広聴活動の充実を図ります。
	60 官民協働によるまちづくり活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	協働のまちづくりに向け、町政参加の機会の確保とともに、活動の推進のため、活動の場や情報等の提供に努めます。
	61 職員の能力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	人材育成基本方針に基づく人材育成や、職員の自治体経営能力、業務遂行能力の向上に努めます。
	62 コミュニティ活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	地域における多様な活動団体による主体的なコミュニティ活動を支援するため、情報提供、相談体制の充実・強化に努めます。
	63 人権・平和の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	互いの人権や価値観を尊重し合えるよう、啓発活動を推進します。また、男女共同参画意識の啓発や学習機会の充実を図ります。
	64 計画的な行財政改革の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	総合計画の推進と実効性確保のため、行政評価制度による進行管理と評価とともに、事業費等の見直しや効率化を進めます。
	65 安定的な財政基盤の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	「財政見直し」に基づき、財政運営の効率化を進めます。また、税金の納税意識の啓発とともに、収納率の向上を図ります。
	66 安全で効率的な情報システム運用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	庁内の各種手続やシステム等について、セキュリティの強化等により、安全で効率的な運用を推進します。
	67 公共施設の適正な維持管理・再編	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	公共施設白書や再配置に関する基本方針を踏まえ、公共施設等維持管理計画を策定し、適切な運用を推進します。
68 広域連携の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	9	スケールメリットが期待できる業務等は、県や周辺市町との協力・連携により、町民の利便性向上を図ります。また、広域的な連携が必要な課題の研究に取り組みます。	

問2で「3. できれば他へ移りたい」、「4. すぐにでも他へ移りたい」、「5. わからない」と答えた方にうかがいます。

問2-2 問2で答えた理由について、あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。

- 1. 愛着が持てないから
- 2. 公園・緑地・広場が少ないから
- 3. 家族が遠くに住んでいるから
- 4. 乳幼児の子育て環境がよくないから
- 5. 小中学校の教育環境がよくないから
- 6. 人間関係がよくないから
- 7. 自分の家や土地がないから
- 8. 現在の住居に不満だから（広さや家賃）
- 9. 仕事の関係から
- 10. 交通の便が悪いから
- 11. 生活をするのに必要な施設がそろっていないから
- 12. 行政サービスが充実していないから
- 13. 特に理由はない
- 14. その他（ ）

3. 地域づくり・地域活動についてうかがいます。

問3 あなたが地域や地域活動・ボランティア活動（自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術等は無償で提供する活動）に対して望むことはどのようなことですか。あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。

- 1. 学校や家庭以外に、子どもの教育の場をつくる活動
- 2. 近隣の人との日常的なつきあいがあること（届け物の預かり、緊急時の手助け等）
- 3. 地域における趣味やスポーツ活動
- 4. 地域の生活（風紀、安全等）を守る活動
- 5. 地域のイベントや祭り等があること
- 6. 障害者やお年寄りの手助け等の活動
- 7. 世代間（青少年と高齢者等）の交流があること
- 8. 特に望むものはない
- 9. その他（ ）

問4 あなたは、地域活動やボランティア活動等に現在参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

1. 現在、参加しており、今後も同じ活動を続けたい
2. 現在、参加しており、今後は別の地域活動・ボランティア活動に参加してみたい
3. 現在、参加していないが、今後は参加したい
4. 現在、参加しているが、今後はやめたい
5. 現在、参加しておらず、今後もするつもりはない
6. 活動への参加は難しいが、活動団体への経済的支援をすることは可能

問4で「1. 現在、参加しており、今後も同じ活動を続けたい」、「2. 現在、参加しており、今後は別の地域活動・ボランティア活動に参加してみたい」と答えた方にうかがいます。

問4-1 地域活動やボランティア活動に参加する上で、課題や困っていることはありますか。あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。

1. 周囲の理解が得られない
2. メンバーの高齢化
3. 新しいメンバーが増えない、後継者がいない
4. 仕事等と活動時間の調整
5. 活動に必要な知識や技術を習得する研修等の機会の不足
6. 活動場所の確保
7. 活動資金の確保
8. 有効な情報発信の手段の不足
9. その他 ()
10. 特にない

問4で「4. 現在、参加しているが、今後はやめたい」、「5. 現在、参加しておらず、今後もするつもりはない」と答えた方にうかがいます。

問4-2 問4で答えた理由について、あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。

1. 周囲の理解が得られないから
2. 時間的に余裕がないから
3. 報酬が得られない(安い)から
4. 活動に伴う経済的な負担が大きいから
5. 活動に伴う精神的負担に耐えられないから
6. 活動仲間との人間関係がうまくいかないから、人間関係がわずらわしいから
7. 健康上の理由
8. どのような活動があるのか分からないから
9. 興味のある活動がないから
10. 地域活動やボランティア活動そのものに関心がないから
11. その他()
12. 特に理由はない

4. 子育て・高齢者についてうかがいます。

問5 あなたは、町の子育て支援対策として、どのような取り組みを充実させていくべきとお考えですか。あてはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。

1. 親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会の充実
2. 子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり
3. 子ども連れでも安心・安全に移動しやすい道路環境づくり
4. 子どもたちが世代を超えて様々な人と交流する機会の提供
5. 中学生・高校生の居場所づくり
6. いじめや差別をなくす教育の推進
7. 必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス
8. 子育てに困ったときに相談したり、情報が得られる窓口サービス
9. 保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減
10. 安心して子どもが医療機関にかかることができる体制
11. 子育てについて学べる機会
12. 医療費への助成
13. 妊産婦や乳幼児健診等の母子保健の充実
14. 子育て家庭の家賃や教育ローンへの助成
15. 鉄道やバス等の公共交通の利便性向上
16. 学童保育の充実
17. 男性の育児参加の支援
18. 残業時間の短縮や休暇の取得促進等、企業に対する職場環境の改善の働きかけ
19. その他()

5. これからの二宮町についてうかがいます。

問7 あなたは、将来、二宮町がどのようなまちになってほしいと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。

1. 農業や漁業等の産業が盛んなまち
2. 買い物や余暇が楽しめる活気のあるまち
3. 海、山、川を活かした観光・レクリエーションのまち
4. 自然や景観の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち
5. スポーツの盛んな健康づくりのまち
6. お年寄りが安心して暮らせる生きがいのあるまち
7. 道路や下水道、公園等生活基盤が整ったまち
8. 防災・交通安全等が充実した安全なまち
9. 子育てや教育のサポートが充実したまち
10. その他（ ）

問8 あなたは、二宮町は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 産業の振興 | 2. 商業サービスの充実 |
| 3. 都市間・国際交流の推進 | 4. 観光の振興 |
| 5. 駅前の整備 | 6. 海岸・港の整備 |
| 7. 緑化の推進 | 8. 自然環境の保全・育成 |
| 9. 美しい景観の保全・育成 | 10. スポーツの振興 |
| 11. 健康づくり | 12. 子育て支援対策の充実 |
| 13. 母子・父子福祉の充実 | 14. 児童・青少年の健全育成 |
| 15. 高齢者福祉の充実 | 16. 障がい者福祉の充実 |
| 17. 行政への町民参加の推進 | 18. 公園・広場の整備 |
| 19. 道路の整備 | 20. 公共交通の充実 |
| 21. 下水道の整備 | 22. 保健・医療の充実 |
| 23. ごみ処理・リサイクルの推進 | 24. 騒音・振動等の対策 |
| 25. 防災対策 | 26. 交通・防犯対策 |
| 27. 学校教育の充実 | 28. 生涯学習の充実 |
| 29. 歴史・伝統・文化の保全・活用 | 30. 情報化の推進 |
| 31. 広域行政の推進 | 32. 行政のスリム化 |
| 33. その他（ ） | 34. わからない |

6. 町民参加についてうかがいます。

問9 町行政や地域の活動に関する情報を十分に入手できていると感じますか。あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分に入手できている | 2. ある程度は入手できている |
| 3. あまり入手できていない | 4. まったく入手できていない |
| 5. 情報を得る必要がない | |

問10 行政に関する情報はどこから入手していますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 広報にのみや | 2. 町ホームページ |
| 3. 役場等の公共施設の窓口 | 4. 町職員 |
| 5. 回覧板 | 6. 広報板 |
| 7. 新聞テレビ | 8. その他 () |

問11 あなたは、まちづくりに町民参加は必要だと思えますか。あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. まちづくりに町民参加は必要である |
| 2. どちらかといえば、まちづくりに町民参加は必要である |
| 3. どちらかといえば、まちづくりに町民参加は必要ない |
| 4. まちづくりに町民参加は必要ない |
| 5. わからない |

問12 あなた自身がまちづくりに参加（参画）していくことについて、どのように考えていますか。あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. 選ばれれば参加したい |
| 3. 参加したいとは思わない | 4. わからない |

7. あなたのことについてうかがいます。

選択肢から1つ選んで○を付けてください。記入が必要なものは直接お書きください。

問14 住所	1. 一色 2. 緑が丘 3. 百合が丘 4. 中里 5. 二宮 6. 富士見が丘 7. 松根 8. 山西 9. 川匂
問15 性別	1. 男 2. 女
問16 年齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上
問17 職業	1. 自営業 2. 会社員（正規雇用） 3. 派遣・アルバイト等（非正規雇用） 4. 学生 5. 無職・その他
問18 通勤・通学	1. 通勤・通学していない（自宅での自営を含む） 2. 通勤・通学している
↓ 問18-1 通勤・通学地	1. 二宮町 2. 大磯町 3. 中井町 4. 平塚市 5. 小田原市 6. 秦野市 7. 茅ヶ崎市 8. 横浜市 9. 川崎市 10. その他の神奈川県内の市町村 11. 東京都 23区 12. 東京都内の市町村 13. その他（_____都道府県）
問19 家族構成	1. 1人世帯 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子 4. ひとり親と子 5. 夫婦と親と子 6. その他（_____）

8. 自由記入欄

二宮町のまちづくりについてご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

- 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
- ご回答いただいた調査票及び「にのみやトークカフェ」の参加申込用紙（参加希望者のみ）は、同封の返信用封筒で **12月20日（水）までにご返送ください。**